京城日報
七日夕刊
定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月金壹圓六拾五錢 六ヶ月金參圓貳拾錢 一ヶ年金六圓七拾錢 ▲郵券代用二割増
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓 ▲三號活字同上 ▲四號活字 ▲六號活字廿一字詰金七拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 一二〇番 一六〇番 三〇〇番

獨墺側の提示條件

瑞西國諸新聞の記事に曰く、確かなる筋よりの報道に依れば獨墺側は聯合側に平和條件を示すべき第二公文を準備中なり其重なる條件は

一、白耳義を撤退する代りに白耳義領公果を要求す
二、佛國北部を撤退し其の代りに聯合國側の占領せる獨逸殖民地を返還せしむ
三、波蘭王國を新設し其の區域はワルソヴイー大公國の疆界內とす但スワルキ州を除く
四、ヴイルノ、ゴブノ、グロドノ、スワルキ、クルランドを併せてリスアニア王國を新設し但クルランドは地方自治權を有す
五、東部ガリシヤをサン河迄墺國に割讓す＝瑞西國發某所著電＝(東京特電)

勃王獨帝の會見

アムステルダム來電＝勃牙利王は一月三日獨逸軍隊本營に於て獨帝と長時間の會見を爲せり(紐育電報)

英首相等の伊都行

倫敦公報に依れば、首相ロイド、ジョージ氏及英國軍事內閣員ミルナー卿は一般的形勢に關する佛伊兩國政府の意見交換に參議すべく顧問を隨へて羅馬に到著せり(紐育電報)

英國首相ロイドジョージ氏は這回佛伊兩國政府と意見交換の爲め軍事內閣員と共に羅馬に到達せり(羅馬電報)

露軍各方面の奮戰
敵襲に對し或は擊退或は退却

露國公報に曰く『チエボナイ河南方の高地に對して敵の行へる五回の强襲は擊退せられたり又敵はオイッツ河北方に於ても三回の攻擊を行ひたりしが我戰は無事に之を擊退す兵力三十師團の敵軍は三十個放列の援助を受けてボーゼン河口南方に我軍を襲ひ我をして退却の餘儀なきに至らしめたり敵はブレイラの東方なるウオコロンスに猛烈なる攻擊を加へ來り終日激戰行はれしが敵は甚大の損害を被りながら夜に入りて我軍をしてダニューブ河の他岸に撤退するの已むなきに至らしめたり(紐育電報)

獨軍のブレイラ占領主張

伯林公報は羅馬尼ブレイラの占領を主張せり(紐育電報)

米人の日本觀正鵠を得ず
ムッセー博士の意見發表

曩に日本に渡りたるコロンビア大學經濟學教授ムッセー博士は其の渡日所感を發表し從來米人の日本觀が種々なる意味に於て正鵠を得ざりし事を指摘し公平なる觀察を下し又近來日本に反米論の持ち上りしは主として米國が軍備擴張に馬鹿騷ぎを爲せる結果にして其の責米國に在りと(紐育電報)

政友幹部密議

六日政友會總裁原敬氏は腰越別莊に於て床次竹二郎及び山本達雄の兩總務と會見し種々協議する所ありたり(東京電報)

山口補缺戰激烈

山口補缺選擧戰は瀧口吉良(憲政)阪上眞信(政友)大田芳甫(國民)神德一人(政府黨)等四氏の競爭激烈を極めつゝあり(東京電報)

大塚稻垣和田三氏

七日朝釜山入港新羅丸にて總督府參事官大塚常三郎氏鐵道局技師稻垣甚氏同參事和田駿氏著釜同十時半發列車にて京城に向へり(釜山特電)

三增大倉兩氏

七日朝釜山入港の新羅丸にて三增馬山府尹大倉喜七郎氏夫妻著釜同十時半發北行列車に搭乘せり大倉氏は奉天へ直行すべし(釜山特電)

滿洲製織會社
長春に設立著手

在長春滿鐵附屬地內の支那商務會有力者等は北滿地方に需用さるゝ各種綿布を供給する目的を以て製織會社を長春に設立せんと企畫し之れが斡旋方を同會の森脇氏に依賴し氏は舊冬上京し運動の結果澁澤榮一、中野武營、馬越恭平、大塚信太郎、日下義雄諸氏の贊助を得資本金百五十萬圓一株五十圓三萬株の內其全株は東京側にて斟る程の盛況を呈したるも在長春日本人及び支那人發起人間に於ても約一萬五千株を引受くるの要望あるを以て東京側の持株を半減し更に發起人持株の內幾分を長春土著の日支人要望者にも分與する筈にて右は舊臘內に於て大體決定したれば新春に入ると與に直に實行に著手するに至る可しと(奉天)

連山灣軍港問題

遼西の連山灣(即ち葫蘆島)築港は世人既知の如く前淸末に工事を開始したるも財政難の爲め其後半成の儘放任されありし處北京政府は昨秋頃の軍政會議に於て該港を北洋海軍根據地と爲す事に決議し海軍部より調査員を派遣し種々硏究の結果之れを軍港に改築するの價値ありと認め舊臘末海軍總長は張奉天督軍に參考の爲め東省當局者が該港に關して經年行ひたる調査書測量圖其他一切の資料を海軍部に送附す可きを電命し來り目下督軍公署に於て之れが準備中なるが聞く右報道は早くも民間に傳はり今春開氷後の工事開始を豫想して土木業者等は省城に集り工事受負方に就き種々運動中なりと(奉天)

政教分離實行

南美以派の一大英斷 先年總督府に於て教育に關する府令を發し全鮮宗教學校は十年以內に其府令に基く改科を受くることと爲しべき旨訓達ありしが南美以派にては舊臘中旬米國傳道協會よりペンネット、ヘッド兩氏の來鮮を機とし宣教師大會を開催せる席上に於て時勢の趨向に鑑み同派所屬の韓英書院其他高等女學校普通學校等同時に率先其組織を改め本年五月より之を實行するの議決を爲し目下米國協會本部の認可稟請中にて近く必ず實現せらるべく朝鮮教育事業の爲め甚だ歡ぶ可き現象なりと

京城通關貿易

十二月中に於ける京城通關貿易は輸移出二十八萬二千七百圓にして牛皮の十七萬一千二百圓を最とし主なる者は煙草の四萬六千三百圓人蔘の八千二百三十圓肥料七千二百圓等にして輸移入は百六十三萬一千九百圓に及び歲末好景氣の折とて稀有の活況を呈したるが主なるものは

品名	價格	品名	價格
小麥粉	二八、三三一圓	綿絲	四三、六三五圓
果實	三六、三〇九	生金巾	二二、一三五
砂糖	四四、一六六	晒金巾	五〇、〇四〇
淸酒	五五、三二〇	毛織物	四二、七一一
紙類	六一、六三四	小包	一六一、二九一
煙草	三三、三〇一		

仁川の滯貨量

仁川穀物協會の調査に依れば十二月末日の穀物在庫數は實に三十萬八千八百六十一叺に達し其內譯は

玄米十八萬九千八百五十叺、白米一萬二千五百二十八叺、大豆六萬九千二百九十八叺、小豆八千九百八十八叺、花子四百六十三叺、小麥一萬四千六百十四叺、胡麻百七十五叺、粉米千八百二十一叺、蕎麥百叺、糯米六百四十叺、籾一萬九百十四叺

なり此れを十一月末に比較すれば約十萬叺增十二月中旬に比較すれば一萬叺增にして船腹の不足は依然として滯貨の增加を招きつゝあるが一月以降は鎭南浦以北の各港及び浦鹽航路船舶の廻航あり且つ船會社にても各地穀物業者の懇望に依り船腹を增すに至る可ければ或は本月末に至らば幾分滯貨の疏通を見るに至らんか殊に結氷期に入りたるに鐵道の貨車配給不如意、大阪氣勢軟弱等の關係上米穀の廻著減少するに至る可ければ自然に滯貨の調節を保ち得べしと(仁川)

滯貨の釜山

舊冬より釜山第一棧橋に停滯せる內地輸送の米大豆等の貨物は新年に入るも更らに減退せず六日現在に於ける連絡輸送の分にて山陽線經由本土行約三千六百噸九州行約九百噸下關行約一千噸合計五千四百噸の停滯を示せり而して本土行は依然一日五百五十噸の範圍に制限せられ居れるも過日來海上風波の爲め兩三回連絡船の缺航ありしに對し若干宛制限外に積送しつゝあるも以上の如く停滯貨物の一掃は容易にあらざるもの、如し之れに反し又た釜山地著貨物は新年來著しく減少し現在稅關倉庫在庫品は二千噸內外に過ぎず釜山驛構內の貨物は昨今漸やく一掃せられたるの觀あり(釜山)

五年の釜山貿易

釜山稅關調査に係る大正五年度の釜山貿易は大正四年度に比し輸移出入共非常の增加を示したるが輸出の重なるものは大豆、繭、黑鉛、重石等にして輸入に於ては砂糖、石油、綿布、諸器械類等增加の主なるものなり今大正四年度との比較は左の如し(釜山)

	大正五年	大正四年
輸移出品價格	二一、〇三一、〇〇〇	一七、八九九、〇〇〇
輸移入品價額	一六、八三四、〇〇〇	一四、三六六、〇〇〇
合計	三七、八六五、〇〇〇	三二、二六五、〇〇〇

釜山水產總會

釜山水產會社にては來る二十日株主總會を開き定款改正並に大正五年度下半期營業成績報告及び同期株主配當等を附議する爲め同社重役は六日午前十時より同社樓上に重役會を開催する筈なるが同社株主配當金は一割三分三厘の見當にして繰越金二千餘圓なりと(釜山)

東拓社員待遇改正

東洋拓殖會社にては既報の如く社內職制の改正を行ふと同時に社員の待遇規則をも改めたるが其の內容は從來の本俸の十割なりしを五割に減じ加俸本俸を增加したり尙ほ同時に旅費規則等にも若干の改正を加へたり

白水少將等歸任

鐵原方面に於ける大正六年秋期機動演習地々理踏査の爲め舊臘より出張中なりし軍參謀長白水淡少將參謀千賀松少佐は六日午後一時五十分著列車にて歸任の筈なりしも都合上一日延期となり七日午後五時半龍山著列車にて歸任せり

佐々木長官歸任

過日鄕里山口縣に歸省中なりし佐々木慶南道長官は令息和氏を伴ひ六日午前入港の連絡船さくら丸にて著釜同十時三十分發列車にて晉州に歸任せり(釜山)

和田總務課長歸任

年末年始の休暇を利用し內地に旅行中なりし和田鐵道局總務課長は七日夜南大門著列車にて歸任す

安藤參事歸任

舊臘より冬の金剛山を踏破の爲め旅行中なりし安藤鐵道局參事は六日夜歸任せり

吉田氏渡歐期

朝鮮銀行東京支店長吉田節太郎氏は愈二月上旬橫濱出帆の便船にて倫敦に出張する由

年末の大阪

十二月中旬東西金融市場の狀況は株式の暴落と年末警戒とに基因する一種の恐怖心に襲はれ各自警戒に努めたる結果融通の途全然杜塞し一時は人をして恐慌來を憂慮せしめ其の光景は宛から山雨當に到らんとして風樓に滿つの感ありき▲然るに月末に於ては市場の大勢は全く其の趣を一變し資金の供給は頗る潤澤なるに至れり蓋し株式の受渡も終了し日銀大阪支店は特別融通資金も漸く六百三十餘萬圓の貸出ありたるに止り而も預金は月迫と共に日に日に增加し三十日に越高無慮千四百餘萬圓を計上せるに見るも其の大勢を卜知すべきなり▲想ふに如斯現象は年末金融市場として實に不自然の觀なくんばあらず左ればコールの如きも低落し月迫と共に益々低下し三十日頃にありては年越コール一錢三四厘に暴落し然かも出手ありて取手なく一流紡手の如きも一錢七厘見當にて貸惜みの模樣あり然れども歐洲戰亂は本邦にありては意外の僥倖を來し輸出超過の勢は日に月に增進して遂に本年度の超過額總計は三億五千萬圓を突破し內外に於ける正貨保有高は約七億千三百萬圓を算するに及べり▲從つて東西金融市場に於ける預金は益々增加し信用は著しく膨脹し且つ諸物價の騰貴等は兌換券の需要を激發し月末帳尻は六億圓の數字を計上するに至れり(三十一日大阪支局發)

大阪より

新春の金融界

舊臘年末決濟資金の需要の日銀大阪支店帳尻は預金最低三百六十餘萬圓に減少し貸出千九百四十餘萬圓に增加せる大阪の金融界は三十日午後に於て早くも決濟資金の一段落を告げ市況靜穩となり三十一日には既に資金回收の緒につき市中銀行の手元の餘裕を生せしかば自然金利低落して最高より三厘方引弛みて越年せり從て新春初頭の市場は引續き回收行はるより「コール」は無條件一錢一厘見當を唱へ居るが實際の取引は一錢二厘所にて行はれ商業手形割引日步は普通一錢六厘紡績もの一錢五六厘にて舊臘の最高に比し三四厘方の低落を示せり併し中旬以後に於て漸次緊縮狀態となるべし

砂糖初商內

砂糖の市況舊臘不勢稍回復して四日の初商內は氣配强硬にして分蜜十八圓六十五錢と昨年末より十錢高を以て多少の初手合せあり後買物なく精糖は二十錢安の二十三圓五十錢を唱ふるも買は全く買入なく爲めに取引振はざりしも底意强硬を呈せり

郵商船の競爭

郵船對商船の濠洲航路に於ける競爭は逐次擴大せられんとしつゝあり兩社同航路の臨時船として郵船は一月上旬山形丸を商船は安平丸を一月中旬中に何れも配船する由

商船南米第一航

大阪商船は一月十四日南米航路第一航として笠戸丸を就航せしむべく同日神戸解纜長崎香港新嘉坡を經てダーバン、ケープタウン、リオデジャネル、アルゼンチン、ヴエノスアイルスに著港の豫定にして往復航は染料鑛石等にして此の航海は五箇月間の豫定なるが同社の此の企劃は對南米貿易の發展に資するの外阿非利加沿岸の利便は特に注目に値するものなりと

積荷全部變色

郵船會社は荷主側の希望に基き臨時船鳥取丸を仕立て佛國馬耳塞港に直航せしむることとなり同船は三十日神戸出帆の豫定なりしが橫濱より積込みたる荷物及び其他が全部黃色を帶びたるため目下曹達水其他にて洗滌脫色に努め居るを以て出帆を七日に延期したりと

賣出制限問題

印度證券賣出制限問題は英國及び印度當業者の英國政府に對する運動を繼續しつゝあるも未だ何等の救濟策を講ずるに至らず大日本紡績聯合會及び日本棉花同業會にては棉花買入時季に際し爲替不能のため孟買棉の積出を不可能ならしむるより這般來善後策に關し凝議の結果四日我が政府に對し何等か救濟策を講ぜらるべく英國政府に交涉されたき旨請願書を提出せり

船員同盟下船

山下汽船會社所有船第三喜佐方丸(總噸數二千五百八十七噸)は某外商にチャーターされニューポート馬耳塞紐育間の航路に從事しつゝありしが客臘不平にて同盟不航したるより永田丸の乘組員全部を傭ひ入るゝ事となりたる旨神戸某所に入電ありたり(四日夕支局より)

仁川

▲米輸移出高 大正五年一月以降十二月迄の一年間に於ける仁川米の輸移出高を聞くに玄米中白米二十四萬四千八十五叺に達したり重なる仕向地は東京六千三百六十六叺大阪二十二萬四千五十二叺神戶二千三十八叺兵庫七百三十四叺名古屋三百八十一叺大連八千三百二十一叺龍山三百叺青島二十叺にして其中大連及び龍山に輸移出したるは軍用米にして一叺三斗入なり▲客月貿易高 仁川稅關に於ける客月の輸移入狀態は米穀の出盛期に際したると年末なりし爲め貿易頗る殷盛を來し輸移出百二十四萬千八百七十六圓輸移入百七十四萬九千六百九十二圓合計二百九十九萬千五百六十八圓に達したり重なる輸移出品は長九十

平壤

▲果菜販賣所許可 平壤大橋恒藏梶道夫辰見彥三郎小口源吉の四氏より出願中なりし果菜委託販賣所營業の件は一月四日其筋より許可の指令ありたり▲金融理事更迭 平安南道鎭邊地方金融組合理事村尾重尾氏は今回依願退職となり其後任として平壤地方金融組合理事見習農學士大向太次郎氏十二月三十一日附を以て任命されたり▲各銀行開業 平安農工銀行朝鮮銀行支店百三十漢城の兩支店共一月六日より營業を開始したり▲岡山縣人會 平壤在住の岡山縣人五十餘名は一月六日午後二時より櫻町料亭喜樂に於て春季總會を兼ね新年宴會を催したり

慶州

▲管理者會議 慶北慶州郡にては來る十日十一日の二日間慶州郡管內學校組合管理者會議を開催し諸般の協議をなす道廳よりは湯原道書記臨席の筈にて本道に於ては郡部が自治的に學校組合管理者會議を開くは之を以て嚆矢とすと

大邱

道廳員新年宴會 慶北道廳にては來十日東本町第二芳千閣に於て道廳員の新年宴會を開催する筈

星州

▲經濟狀況 穀價は氣迷ひの態にて出廻り絹糸綿布等は立値安にも拘らず小賣値殆んど引下げざるを以て市場取引全く鈍く唯時節柄とて石油の移入は相當にあり穀價籾五圓二十錢玄米十一圓七十錢大豆七圓七十錢を示せり

浦項

▲經濟狀況 經濟界稍活の好況を持續せる爲め納稅期に入りしもさして金融の逼迫を見る事なく米穀出廻り盛にして鯡漁業も步々ながら準備を進めつゝあり目下穀價籾六圓三十錢玄米九圓八十錢大麥四圓五十錢金利內地人間最高四步最低二步を上下しつゝあり

人事消息

▲佐野榮三郎氏 ▲波多野省吾氏(大阪商船社員) 六日夜元山へ
▲マッキーン氏(米人) 七日朝咸鏡へ
▲柯鴻烈氏(釜山駐在支那領事) 六日午後入京支那領事館へ
▲小宮李王職次官 數日來病氣にて引籠

病牀雜詩 五首

函館 宮路宗海

臥病城中臨歲闌。老懷孤寂思千般。同參諸友多凋落。獨有吾曹未蓋棺。
西谷風溫適病身。白雲林下寂無人。扶筇時涉園庭裡。互與梅花爲主賓。
坐四藥爐經卷間。吾心與世不相關。侍僧來告改年近。紙挿松梅怡病顏。
終期少客扣柴關。世慮須參詩句刪。禍福由來自無二。因痾偶得一身閑。
歲晏山房少客來。獨將心事對寒梅。白頭因病得持戒。近被國醫停酒盃。

商業登記公告

朝鮮煙草株式會社取締役廣澤金次郎
藤本淸兵衛及濱崎健吉ハ各大正五年
拾貳月拾八日辭任ス
右大正五年拾貳月拾參日登記

東亞煙草株式會社取締役佐々熊太郎
ハ大正五年拾貳月五日辭任ス
株式會社百三十銀行取締役富士田卯
之助ハ大正五年拾貳月貳拾壹日辭任
ス
右大正五年拾貳月五日登記

京城府淸進洞貳百參番地金秉徽ハ京
城織紐株式會社取締役ニ當選大正五
年拾貳月拾參日就任ス
同會社監査役朴勝彬ハ任期
滿了ノ處右同日重任シタリ
商號新設
商號三光精米所、營業ノ種類精米委
托販賣、營業所京城府南米倉町八拾
參番地、使用者ノ氏名住所京城
府南米倉町百九拾四番地朱宅淋
株式會社第一銀行ハ大正五年拾貳月
拾九日京都市下京區東洞院通六角
入御射山町參拾番地株式會社京都商
工銀行ヲ合併シタルニヨリ左ノ通
追加ス
合併ニヨリ增加シタル資本總額金百
貳拾萬圓、合併決議年月日大正五年
八月貳拾六日、合併ニヨリ各株ニ付
拂込ミタル株金額金五拾圓
同會社ハ大正五年拾貳月拾九日左ノ
所ニ支店ヲ設置シタリ
大阪市東區本町貳丁目參拾八番地、
京都市下京區東洞院通六角南入御射
山町參拾番地、京都市上京區今出川
通大宮東入元伊佐町貳百七拾貳番地
ノ貳、京都市下京區松原通東洞院東
入石不動町六百七拾七番地
右大正五年拾貳月貳拾七日登記

商號新設
商號麗參業社、營業ノ種類朝鮮人
參及藥品販賣、營業所京城府南山町
貳丁目參拾番地、使用者ノ氏名
住所京城府南山町參丁目拾參番地
藤原砲太郎
右大正五年拾貳月貳拾八日登記

內國通運株式會社ハ各新株ニ付拂込
タル株金額ヲ金五拾圓ト變更シタリ
右大正六年壹月四日登記

京城地方法院

賀正

舊年中は一方ならぬ御引立を蒙り難有奉鳴謝候尙本年も新春と共に倍舊の御愛顧切に奉願上候

宇治茶直接販賣

御茶銘錄定價表(二百目ニ付)

◎玉露製 ◎煎茶製

製造本店 山城宇治
營業所 京都七條東洞院角
製茶問屋 井上六平
(振替) 東京六二一九三 大阪七一〇四
販賣御望ノ方ハ御照會願度候

昨夜失火の際は多大の御同情を以て迅速御馳付被下御盡力により大事に立ち至らず小火にて消止め候得共混雜の際千萬名有難く奉鳴謝候可有之年略儀紙上を以て御禮申述候 敬白

一月七日

千代本

お正月の思ひ出

―(三)昨年は瑞西境で砲聲を聞きつゝ―

◆ユングフラウの雪山

マツケンゼン將軍がベルフオード攻めの雄叫び 中立國の有難さに盛んな滑走戯

―總督府醫院醫官植村俊二氏の談―

大正五年のお正月には私は瑞西の西北方バアゼルといふ所に居りました、バアゼルは獨逸國境に接しアルサス、ローレンにつゞいた所で

◇獨佛の要塞にも近い所です、忘れもせぬ恰度大正四年の歳末クリスマス頭から大正五年の新年にかけては同地は實に開闢以來の大砲戰を數里の間に聞いたのであります、それは獨の猛將マツケンゼン將軍が巴爾幹半島を席捲して後ち更に麾下の精鋭を佛蘭西國境のベルフオード要塞に殺到せしめた時でありました何しろベルフオード要塞は獨のストラスブルヒと相對抗した

◇金城湯池の堅壘であつて彼のヴエルダン要塞に次いでの要地でありますから當時獨軍の猛射亂擊した砲彈といふものは實に想像以上の莫大なものであつたと思はれます、これは後に至つてヴエルダン攻擊の牽制攻擊だつたとも云はれて居りましたが當時の物凄い砲聲の轟きはとてもお話にはなりません しかも巨砲の音響が

◇一つ〳〵に聽へるのではなく殆んど數百數千の砲聲が一時にゴウ〳〵と響くのでありますから實に猛烈を極めたものでありました、而してそれが連日連夜深夜さへも小止みなく聞えて居ましたから當時の慘憺なる激戰は實に想像に餘りあると思はれます、現に私共もバアゼルの街を歩きつゝある間に突然地震が揺つたのかと立停つて

◇飛行機の爆彈や巨砲の音に驚いたのでありました、併し中立國のありがたさは恁麼大砲戰を五六里の近くに見物しながらお正月が來ると皆んな野や山にスキーを試みスケーチングを遊ぶのであります、殊に瑞西では冬期の山登りが盛んであつて何れもルツクサツクと稱する背嚢を背負ひつゝ數日間の携帶行糧を持つてスキーを試みるのであります、瑞西は御承知の通り

◇山も平野も湖水も恰度齒のやうで一般に大氣が乾燥して居りますから雪は降つても寒さは餘り酷くないやうです、それに近い所では有名なユングフラウの雪山があり且つ溪谷には何處にも氷河(グレツチエル)と稱する萬年雪が遺り遠い山にも近い山にも見渡す限り永遠の雪が世界を淸めて居ります、それに一帶の雪景色が繪にも及ばぬ美しさであつて私共は

◇異境のお正月とは申しながら實に氣持のよい冬景色を見ました、バアゼルではわれ〳〵日本人は七名ばかり居りましたが何れもレストウラントに集つて天皇陛下の萬歲を三唱しつゝ瑞西の元旦を迎へたのでありました

●悲慘なる海邦丸の最後

船員卅四名歸る

ブラタス島沖合にて坐礁し九死に一生を得たる海邦丸船員三十四名は六日亞米利加丸にて神戸に歸著せるが乘組員の語れる悲慘なる遭難談は聞くものをして覺はず肌に粟を生ぜしめたり(大阪特電)

●五十萬圓の資産家溺死す

香川縣朝鮮出漁團本部への入電に依れば朝鮮東海岸は舊臘二十五日來天候險惡にて暴風吹募りつゝあり浦項附近に鯖の大群現はれたりとの報ありて同地に向ひし漁船中二三艘遭難船を出したる爲め朝鮮支部長合田氏も同地に赴きたるが同氏も亦遭難し同氏以下數名は溺死せるものと察せらる同氏は三豐郡豐濱村出身の朝鮮出漁の功績者にして資産五十萬圓以上と稱せらる

●女學校の寄宿舍を襲ふ

京城觀水洞居住長崎市十人町生れの山本義雄(二六)は十一月十二日京城大和町二丁目辰市某方にてルビー入金指輪一個(六十八圓)及び現金四圓を竊取し九月十七日夜は壽町私立淑明女學校の寄宿舍に忍び込み女學生德久某女の現金十圓入りの紙入一個を竊取し尙外數箇所にて百餘圓の泥棒を働き活動寫眞見物及び買食ひ等に消費し遂に本町警察署に捕へられ此程京城地方法院にて懲役一年の處分となれり

●博徒三十餘名檢擧

京城憲兵分隊にては豫て管内東部里に多數の博徒あるを探知し客臘二十九日午後十時を期し小山田分隊長以下三十餘名の部下出動し一齊に浮浪者の狩立てをなしたるに翌午前七時迄に賴領手配中の犯人、窃盜現行犯博奕現行中の者等二十三名を逮捕し處分すべきは留置し其他一應取調べの上放遣したるもありたり

●遺留品發見

大賊の手掛り 釜山の九千五百餘圓盜難事件

舊臘卅一日大晦日の未明朝鮮銀行釜山支店銀行員の現金九千五百餘圓を所持し外出したる際曲者に襲はれ同金全部を强奪されたる事は既電の通りなるが其の詳報を記さんに朝鮮銀行にては每日朝晚第一棧橋に出張して旅客に對し日本銀行券と朝鮮銀行券との兩替をなすを例とし其の都度行員をして

△現金を携帶 出張せしむる事となりをれるが恰かも當日は行員吉村信定(三)が出張の當番に當りたるを以て卅一日午前五時三十分九千五百餘圓を手提げ金庫に入れ銀行の抱へ車に打ち乘り車夫尾崎森太郎(二)が之れを曳きて裏門より出でたるに影黑き電柱の影より一人の曲者躍り出で

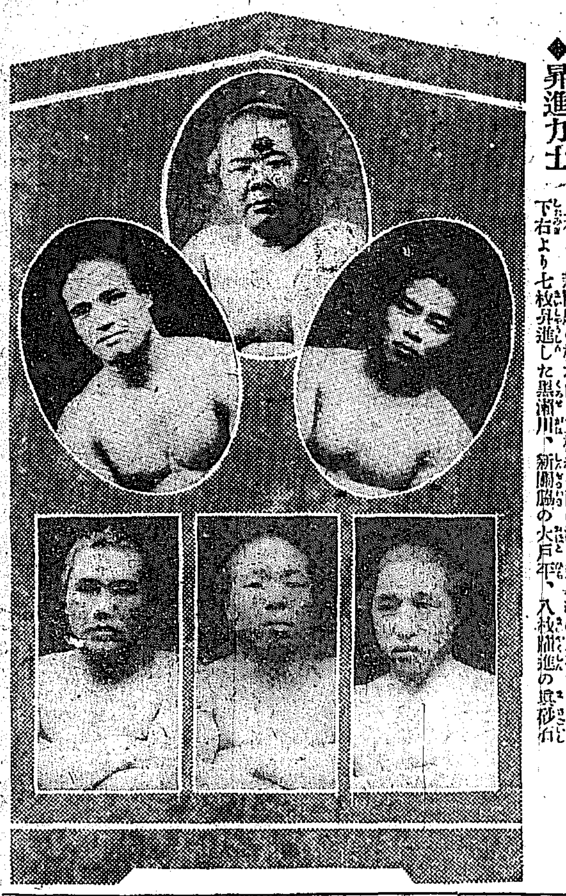
△西洋剃刀を持つて車夫の面部を切り付け車夫がアツと叫んで斃るゝ隙もあらせず車の蹴込みに置きたる金庫に手を掛け奪ひ取るや猿の如く龍頭山の暗に姿を晦ましたり當日は恰も小雨シボ降りしきるより車は幌をかけ居たる事とて車上の行員は此突嗟の光景を知る隙もあらず車は横の溝に倒れたるより驚きて幌の前掛を蹴破り街路に降り立ち見れば賊は已に智恩院横手を曲りたるより追跡したるが篠崎西洋洗濯所前にて遂に

△姿を見失ひたり 一方面部に重傷を負ひたる車夫の尾崎は氣丈にも創口を押へつゝ憲兵隊に馳け込み茲に警察と憲兵隊との大活動となり捜索の末當日午後二時憲兵隊裏手伏兵山麓の香椎源太郎氏屋敷の下水溝内より兇行に用ひたる剃刀現金を拔き取りたる空金庫其他の遺留品を發見し漸く一萬圓大賊の手懸りを得たるのみなるが兇賊は巧に蹤跡を晦まし未だ逮捕するに至らざる由(釜山)

◆留置場に百餘名

新年を迎へた刑事被告人

御目出度い樂しい初春の街頭は年始廻禮の紳士淑女で賑はつてゐるが犯した罪に身を縛られてゐる刑事被告人、唯今の感想は如何警察の留置場に繋がれてゐる被告人丹は正月と言つても實に味氣ないもので浮世の人は居酢機嫌に踊り廻つてゐるのに冷たい板敷の上に警官の靴音や佩劍の響を聞きつゝ謹愼して居らねばならぬ是等被告人に對しては新年だからとて官廳では別に何等の手當もない資産家の被告人が幾分の心附けとして辨當を入れてやる又食物も願出に依つて幾分の差入を許してある位である京城では本町鍾路の兩警察署の留置場で年越しをなしたものが百餘名程あつた



◆昇進力士 上右より新關脇の栃木山、正横綱の西の海、新小結の玉手山 下右より七枚昇進した黑瀨川、新關脇の大戶平、八枚躍進の眞砂石

●九年前の殺人

犯人逮捕さる

守備隊出動して犯人檢擧に努めたるも一向に手掛りなく未だ民間に[illegible]きて殺害し其屍體を叭俵に入れて[illegible]

(一等三名)北條三郎、日本人二名 (二等十八名)渡邊仁平、山本伸吉[illegible]井[illegible]次、同[illegible]美[illegible] 竹四郎、香[illegible] (三等二十三名)

◆十一歲の令孃の畫が

―好評を博した展覽會―

豫て久保田天南氏をお師匠さんとして密かに南畫の御勉强中であつた土地南畫局の有志達はお仲間に岡天振氏古城天洸氏などの錚々たる連中を集めて明けて悅しきお正月の三日

△南山は白水亭に展覽會を催ふした、會員十一名の作品は各自五點から十點までを持ちよつてこれに山縣政務總監の閑書を始め小原長官の研例女達摩から森安博士の名馬一枚まつた金雲菱先生の名筆に久芳人事課長殿の畫が入枚それに工藤文哉先生から權藤山先生江原如水先生成田碧石先生李古王先生等の寄贈もあつた

△朝の九時から夕方まで入場者引も切らざる盛會であつた、それに面白いのは上村南剛氏の謠曲『鶴龜』謠ひがかりに會員一同の記念寫眞を撮るなどなか〳〵の賑ひ、中には木村南香孃とて今年十一才の可愛らしい畫家もあつた終りに先生の天南氏は近作『甲兵蟹城』と題して長野縣の博覽會に出品したものが妙技一等賞に入選したとてお弟子達もホク〳〵ものであつた

●山陰線の開通

積雪の爲め不通となりし山陰線は六日より開通せり(大阪特電)

●馬 ―自轉車― 鮮老人

唐珠洞の椿事

京城貫鐵洞韓召東(六〇)が一月二日午後六時半頃唐珠洞先きを通行中折柄疾走し來れる太平町二丁目韓俊明の駄馬に觸れ前額部に深さ一寸長さ三四分の裂傷其他數個所に治療三週間を要する打撲傷を負ひたり倏て明は川東中岡洞の申貴錫(二)が自轉車にて疾走し來り件の駄馬を飛留してゐたる處馬は物音に驚き進走して遂に前記の始末に及びたるなりと

●屋根墜ちて

損害五萬圓

酒井東本願寺別院積雪の爲め本堂の屋根墜落せり損害五萬圓(大阪特電)

●廣島縣人會

來る九日午後五時より南山町千代本に於て同縣人會を開き秋山博士の講話及び餘興等もありと

●新入幕の五力士

今度の新入幕千葉ケ崎、琴ケ浦、駒泉、大門岩何れも若手のパリ〳〵で殊に千葉、琴の如きは大物として入幕後の活動振を見んと一般人士から刮目されてゐる

△千葉ケ崎俊次 同力士は千葉縣印旛郡宮里村字千葉の農実倉小一郎の長男俊次(二五)と云ひ明治四十三年夏土地の顔役三和利三郎の周旋で入門

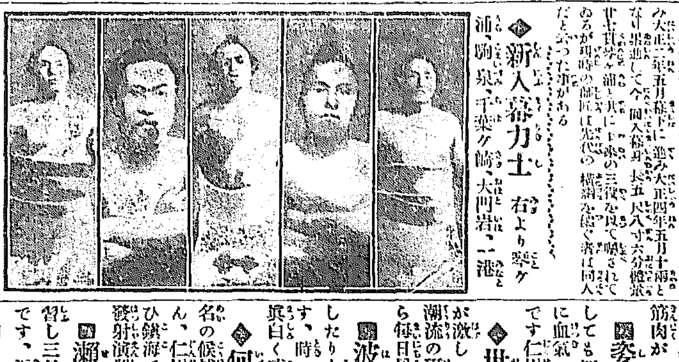
△琴ケ浦喜次郎 富山縣下新川郡魚津村新川某の長男喜次郎(二三)にて明治四十一年五月力士となり同四十四年春場所に幕下に進み大正二年五月十兩、今回入幕し高さ五尺八寸體量卅八貫の一方の雷切りで名尾張に預けた弟子である

△駒泉德次郎 宮城縣遠田郡北浦村農高橋某の長男(二三)である仙臺の中學時代相撲に熱中の選手であつたが殊に相撲に於て鍛ぶ素養ある者だつたので二年の時友人等に勸められ力士となる可く志し明治四十三年上京當時の出羽ノ海の門下となり後駒ケ嶽の弟子となり駒ケ嶽が二代目たらしめんとして殊に稽古に力を注ぎしも途中師を失ひ西ノ海の許に預けられて大正二年一月幕下に昇り大正五年一月十兩となり今回入幕

新十兩鎮西山(鐵道局出身)

△二港政市 秋田縣北秋田郡米内澤村生れ本年二十七歳明治四十一年一月上京出羽ノ海の門下となり漸く力より取り進み大正三年五月幕下に昇り翌年の五月十兩に今回入幕身長五尺五寸體重二十四貫

△大門岩嘉右衛門 福岡縣糸島郡芥屋村字芥屋の農福田嘉右衛門(三三)明治四十一年出羽の海(常陸山)の門に入り初め身體小にして留みた鳴されてゐなかつたが稽古を勵んだ結果近來メキ〳〵と上達して前場所好成績を舉げ今回入幕



◆新入幕力士 右より琴ケ浦、駒泉、千葉ケ崎、大門岩、二港

●氷る嵐に

遠洋航海近づく

―海軍少尉候補生の生活―

甲板當直は青年將校の見習をするのでありますが主なる勤務は

▣作業の處理小蒸氣の指揮等で大抵四五人宛四時間毎に交替して居ります、内地近海は假令嚴冬と雖も鬚が凍つて作業に堪へられぬ樣な事はありませんが

◇大連に入港してからは防寒服が充分で無い上に零下廿度と言ふ嚴しい寒さの爲めに甲板に二十分も立てば鼻の穴から氷が落ちたり、腰の筋肉がつれて直立不動の

▣姿勢が守れず橋に登らうとしても四肢五體が自由にならず流石に血氣に逸る連中も隨分困難した樣です仁川に入港してからは

◇世界に名高き潮流の干滿が激しい港の事とて小蒸汽の操縱、潮流の研究には極めて好都合ですから毎日暴れ狂ふ

▣波濤の中をボートで漕ぎ廻したり小蒸汽を操縱したりして居ます、時に依ると波頭を被つて全身眞白く凍りつく事もありますが

◇何れも元氣旺盛で九十數名の候補生中一人の患者もありません、仁川は七日に拔錨して鎮海に向ひ鎮海では三週間程、大砲や水雷の發射演習をした後

▣瀨戶内海でも大砲發射の演習し三月二三日頃横須賀入港の豫定です、近海の航海は此れで終りますが四月からは愈々遠洋航海で

◇本年は歐洲戰爭中の事とて未だ何れの方面に航海するとも決定して居りませんが二三年來ホンコン、シンガポール、バタビヤ

▣濠洲等に參りましたから本年は多分方面を變へるだらうと思つて居ります(仁川)

灯ともごろ

▲六日夜千代本の二階から小火が出た際に女將のお千代は下の間に居たが二階で火事だ〳〵と騒いでゐるので正月匆々何所が火事なんだらうと思つてゐると▲誰かゞ『家の二階です』と怒鳴つて來たので寢卷のまゝで起き上つてうろ〳〵▲何しろ近所には花月、巴城館、京城ホテル、京金、一銀支店と軒を並べてゐるので恐ろしい騷ぎであつた▲南大門通り出立の卷は一寸變つて居るが此前大連の藝者が一萬圓の富籤に當り姉妹藝妓二人まで廢業せて歸國の途中三人で釜山迄行つたところは無事であつたが下關へ着くと遂々發狂して了つた▲矢張り女は此邊が可愛らしいのかも知れない

(一等一名)太田天十[illegible] (二等十五名)近藤[illegible] 空[illegible]太郎、中井喜太郎、木村郁、同なか、同[illegible] [illegible]

天氣 西の風曇一時晴 一月八日
日出 七時四十九分 日沒 五時三十二分
仁川滿潮 午前五時二十分 午後[illegible]

活動寫眞專門雜誌 活動之世界
第二喜劇特別號(一月號)
◎口繪卅二頁 本文二百卅頁
△各國喜劇會社と喜劇俳優傳
口繪 悉く原版による
△平服のチヤプリン君 △ロイドハミルトン(ハム公) △ビリーリッチ氏 △マツクワンゲー氏 △愛猫とメーベル孃 △新馬者のハムとチビ △洛長典大將とデブ △四大家
原色 メーベル孃
原色 快漢ロロー
△ユニヴアサル主腦俳優 △十八人寫說 △へか △氏とビナメニケ孃 △ルイズラブリー △マートルゴンザレス孃 △恨の歌八稲 △寫眞的畫面十六 △井上劇 △劇大尉の娘 △最新封切 △怪金康人 △劇集市松之助吉岡新房 △立花一派喜劇 △槇野と犯人四人
△チヤプリン一代記に就て寫眞
◎ビリー君に寄する書 ◎日本に於ける喜劇歷史 ◎パテー撮影所の朝 ◎其後のメーベル孃 ◎喜劇一人一語 ◎散歩のチヤプリン ◎チヤップリンの日本見物 ◎正社主腦俳優 ◎屈はる俳優 ◎給料 ◎小人 ◎各國人氣俳優 ◎封切 ◎ヒル人一號 ◎キネマ通 ◎東文論上質疑 ◎鑑賞者 ◎井上正夫 ◎新春の二大寫眞
△名流キネマ談
△世界喜劇俳優の圖書
見たまゝ △恨の舞 △虹のローリ △死のモーン △デローリ △グロ △ハムの郵便 △ハムの夜逃 △ブの安心 △講和成 △裾河內 △越前騷動 △大尉の須
東京市本鄕區森川町一 振替東京三二三六 活動之世界社 一冊特價卅錢 送料二錢 切手不苦

優等清酒 三巴正宗 發賣元 京城府蓬萊町四丁目 三巴酒造場 電話一〇六七番 振替口座六一八番
滿洲特約店 大田支店 平壤支店 安東縣大和橋通り 三巴商店

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務に確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

(明治四十三年九月十八日第三種郵便物認可)

今まで餘り氣付かざりし白髮の左右殊に左側の顳顬附近に散在性に發生するやうになり知らぬ間に年をとるものよ……

□今後一層軍陣醫學の爲め全幅の精神を以て……と

室谷博士

◎龍山の衛戍病院長二等軍醫正醫學博士室谷修太郎氏を漢江通の官舍に訪れる、總督府醫院外科部長としての室谷博士よりも衛戍病院長としての室谷博士の方が矢張似合はしいと思つた、久し振りで又軍人生活に歸つたが僕には此方が適任だ、併し却々忙しくてくれ、新境遇の第一新年には殆んど困らせられたが併し折角訪問を受けて餘り馬鹿なことも話せぬと思つて一寸心覺えを書いて置いた、と取出して記者に與へたのが次の原稿である。

○昨丙辰の一歳を送り今丁巳の新歳を迎ふ、新天新地茲に先づ壽杯を擧げて慶賀す、余も亦一ッ年をとりたり今迄餘りに氣付かざりし白髮が左右殊に左側の顳顬部附近に散在性に發生する樣になり知らぬ間に年を經るものよと今更ながら面白き感を起しぬ幸に半白とか又は胡麻鹽とかいふまでには行かぬのは先づ以て我意を強くするに足ると自覺する、併し元氣は依然旺盛で何等昔日と異なる處はない。

○昨春も柴崎中學校長の許可を得て久し振に同校學生と共に劍道の寒稽古を行つたが何の苦もなく壮果し幸に皆勤賞を頂戴した、實に前途多望なる幾多の青年學生と共に寒風肌を裂く裡心膽を鍛錬して少なからず自信力を養成することが出來たのは誠に愉快千萬であつた。

○余は昨秋長らく奉職せし總督府醫院を辭して再び軍人生活に歸り任に龍山に赴き衛戍病院に御奉公致すことになり茲に新境遇の新年を迎ふることゝなつた衛戍病院には青年軍醫を始め五十餘名の血氣盛りの看護卒が勤務し居ることとなれば之れ等を相手に例の寒稽古を始めたき考である、さて年頭に於ける余の希望としては別段前年と變りしことなけれど併し余をして云はしむれば誠に四角四面であるが御承知の通り歐洲の天地は今猶戰雲長く冲りて何時果つべきもない有樣で實に有史以來の一大慘事である、然るに我帝國國民は泰然として昇平の恩澤に浴しつゝある吾人の覺悟はまさに此の泰平無事の日に於てあらゆる點にそれぞれ講究せねばならぬと思考す今歐洲各國を見るに盛に最新の學理を應用して競ふて之れが研究に沒頭して居る、畢竟科學の進歩は器械の進歩を促がし隨つて軍器の進歩は從來比類なき速度を以て進み來りつゝあるのである、即ち一發の高度爆發彈は約一町四方の總ての物體を破壞して完膚なからしめ二人携帶の機關銃は一分間に四千五百發を發射して厚き牆壁を穿く間に裁り破るが如き精巧なるものを生ずるに至り貴紙にも記載されし如く彼の毒瓦斯彈催涙彈乃至は燒夷彈等兎に角恐るべきものが新威力として歐洲の大戰に現はれ以て從來の戰役に見る能はざりし被害の範圍を擴大し其の慘禍を大ならしめつゝあり○併し他方に於ては科學に基礎を措ける醫學の進歩は軍陣醫學に大進歩を促し獨り傷病者の醫療に於て好個の成績を擧げつゝあるのみならず其軍陣衛生の設備も自から行き渡りあるもの、如くこれにより疫病の流行を未然に防ぎ多くの非命者を作るを妨げ爲めに戰陣に於ける軍隊は此の點に於て大なる幸福を享受しつゝある狀況である實に今次の戰爭に於てはあらゆる學理をあらゆる方面に遺憾なく應用されて居るとれにつけても我々御國の軍人は此の泰平無事の世に於て細心に注意して研究考慮せなければ相濟まぬ次第であると思ふ今後は一層軍陣醫學の爲め全幅の精神を以て青年軍醫と共に平戰兩時に措ふる能力を發展せしめ益〻黽勉努力して軍人の本務を盡すと心掛くる決心である兎に角人間は多事多忙の四字を以て活動してこそ面白しだ

◎愛婦新年會 愛國婦人會朝鮮本部役員會員有志は七日午後一時半京城ホテルに參集新年の賀辭を交換する筈なるが會費五十錢參會希望者は本部宛申込むべしと

◎鐵道倶樂部稽古初 陣の內武德館主を師範とせる鐵道倶樂部武術部に於ては本年稽古初めを七日正午より開始す可く因みに同部には約二百名の會員ありと

□(日曜漫畫) 蛇のステッキ

めちゃ吉畫

今年は巳の歳ですから、毎年無精して土の中に潛つたきり出ない蛇も、今年だけはと柄にもなく御祝儀に出て大變醉つぱらつてしまいました、そのうちにとう〳〵道端に醉ひ潰れてしまいましたが御承知の通りの寒さですから蛇の先生も可哀相にシャツキウコーに棒の樣に凍ばしまいました

すると又そこへやつて來たのは人間の醉漢先生、不圖と見るとステッキが落つて居る、こいつ占めた〳〵蛇の歳に蛇のステッキを拾ふとは縁起よい〳〵と、凍ばた蛇を杖いて行きました。所が二三町もゆきますと、だん〳〵溫りが廻つて凍ばて居た蛇が急に動き出してクル〳〵と巻きついたので人間先生大吃驚、キャー。

居住の內地人賣藥行商人市川衛(當時二十才)は何者にか殺害され屍體行衛不明となりたるため當時の間城……の所爲と判明し……一年舊四月中居村の田圃にて市川と爭鬪の後拳にて同人の胸部を強く……

◎連絡船上陸客 一月三日午前九時釜山入港新羅丸一二三等客(一等一名)星野金吾(二等五名)中原貞造、齋藤榮、鷲尾政六、町田……(三等三十一名)

一月四日午前十一時三十分入港さくら丸……等客

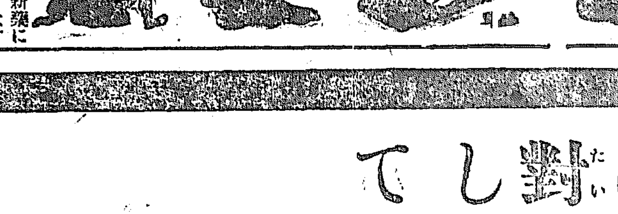
一月五日午前十一時入港對馬丸一二三等客……大原庄太郎、下村鶴之助、吉岡勝三、同たけ子、松枝鋼助、宮永平二、井芳祭、山內定一、同きわ、西村高雄、吉村傳佐衛門……

廣島縣人會
日時 一月九日午後正五時
會場 南山町千代本
會費 二圓五十錢
申込所 千代本

石炭 木炭 煉炭 コークス
電話[illegible]番
明治町 村山商行

ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他
鐵 鋼材
浪板、平板
針金、洋釘
新田帶革總代理店
京城 白神洋行

かぜねつに 一番よくきく
キナピリン



●キナピリンは現代に於ける最新藥にして最も進歩せる解熱藥なりと大方の歡迎を受けつゝあり
●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リヨウマチス●間歇熱(マラリヤ)等に大効あり
定價 二包入拾錢 五包入廿錢 八包入三十錢 十五包入五十錢 三十二包入壹圓
本舖 大阪市堂島元濱橋 高橋盛大堂藥局
發賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店
同 東京市神田柳町 高橋盛大堂出張所
●到る所の藥店に販賣す

皆様の御好意に對して
◁愛用家諸彦に御承知おきを願ひ度き事▷

高貴の御料に召さるゝ
桃谷研究試驗部謹製
化粧品二十六種の中

△美顔クリーム △ブリヤンチンクリーム △レークリーム
△アンストランヂャン △香水 △黛(粉製煉製)
△ポーテークリーム △デターヂャント △爪磨液
△ポマード △洗髪粉 △洗髪液
△歯磨粉 △頬紅 △口紅
△粉製美顔白粉(△肌色 △純白色 △淡紅色)

の十四種は今の處高貴方の御用にのみ調製奉進して居りまして、未だ一般には發賣してゐないものでございます……それから

◎淡紅色美顔水(定價三十錢) ◎肌色美顔白粉(定價廿錢) ◎美顔洗粉(大十六錢 小八錢)
◎固煉美顔白粉(定價四十錢) ◎淡紅色美顔白粉(定價廿錢)

の五種は此程から御許を蒙つて發賣致しました。各地の有名化粧品店に販賣して居りますから御試用の程願上げます。

◎美顔白粉 ◎白色美顔水 ◎美顔ユーマー
◎美顔水 ◎美顔石鹸

の五種は高貴方の御満足を博して御鍾愛彌々斜ならず、一般の御賞用また益々盛にして信用名聲販路日に月に高く廣くなつて參る有樣、殊に美顔白粉の如きは幾多の白粉がある中に製産額の多大なる事第一位を占るに到りました

未だ發賣して居りませぬ各種美顔化粧料に就き御好意を以て澤山御問合もございますが、右の様な次第ですから何卒宜しく御承知置を願ひます。本舖は其の中御許を得て追々右の品々を一般に發賣致す積りでございますから何うぞ暫くの間御待を願ひます

發賣元
桃谷順天館
大阪市西區靱南通二丁目
東京市京橋區南傳馬町五丁目

大阪 桃谷順天館 東京

[illegible]

明君道中記

第二十二席　田邊南龍口演

偖徳川家康公は例の鷹野の歸途駿州田中の城で俄に病に相成りました、それが爲御供をいたした醫者片山與庵早速御脈を伺ひお藥を奉りましたが、何分御老體のことで些と此度の御病氣は面倒とのこと、乃で直に落合道次と云ふ者を以て江戸表將軍家へ急使を立てまする、行程は四十里それを僅十二時で著いたしました、最も此の人は名代の速足であります、當時は餘り道を澤山歩く者は少い樣で、從前は江戸より二十里距れた小田原へ日著け、或は日歸りにいたしたいといふ飛脚なぞがありましたが、當今は汽車の便利がありますから骨を折て歩きますのは馬鹿々々しい樣な考へ、所謂一得一失で自然と惰弱に相成りますから道を歩くにも昔の人の樣には參りません、道を早く歩く人は決して急ぎません

往來を能く心附けて道を損をしない樣に歩きます、大府此の落合道次といふ人は速足で江戸表へ著いたし將軍家へ此の段言上いたした時に大きに秀忠公御賞美になつて、御及一振銀三枚の御褒美を下されました、正月二十一日二日三日四日五日となりますから田中より駿府へ御歸城に相成りました、然し百事手當の甲斐もなく日々に病は重り行く、一説には京都の町人茶屋四郎次郎と云ふ者が駿府へ御機嫌伺に出まして珍らしき食物を差上げた爲病にかゝりしとも云ふ此の四郎次郎といふ者は京都の呉服商でございましたが、足利十四代の將軍義昭公が貴馬の時此の四郎次郎の許にお休になりました、スルと四郎次郎がお茶を立て參らせ義昭公は茶の立前に感心して　義「コレ四郎次郎、以來は其方を茶屋と申せ」と仰せがありましたが是から誰云ふとなくお茶屋〳〵茶屋四郎次郎と申したのでございます、家康公も此の四郎次郎をお愛しになり江戸表へ同道して神田今川橋の邊に屋敷地を給はり、此處に四郎次郎は住居いたしたが、時々駿府へ御機嫌伺ひに出まする、今御目通りへ出たる時に家康公が　家『コレ四郎次郎何か江戸表に當節流行する者は無いか　四『御意にございます、昨今下々の者大層天麩羅と申す物を專ら賞美いたして食します　家『それは如何なる製し方の物である　四『御意で、魚肉を榧の油で揚げまして食します、萬葉假名であぶらあげと認め下樣では天麩羅と申します、最も淘に味は宜しうございまして　家『然らば其方それを調進いたすやうに』畏まつて茶屋四郎次郎が、興津鯛を榧の油で揚げて差し上げました、家康公、殊の外お喜び遊ばし　家『淘に好味なものである』と大層御意に叶つて澤山お食り遊ばしました、ぞれが御病根であるといふ説もありますが、是は如何なものでありますか、最も天麩羅なぞといふものは餘り藥なものではありません、何にいたせ良藥を參らせ諸寺諸山へ祈禱を命じ係りの役人も心配をいたして晝夜寢食る忘れて御看護申し上げます、スルと茲に南光坊天海といふ御方が是を知つた川越より御見舞として馳付けました、此の天海は足利十代の將軍義澄公の末子にして幼名を吉法師丸と申して出家になりました處、天海は熟考へて今天下は應仁以來麻の如くに亂れ四海騷がしく主上は宸襟を惱まし給ひ萬民は塗炭の苦み、見るに忍びず是を救ふには名將を選んで是に仕へ天下を治めること此の上の功德はあるまい、と茲で德川家康公に仕へ戰場の御供をいたしましたが、毎度天海は戰に臨みましたが毎時墨染の衣を著し頸に珠數を掛け八尺の樫の棒を携へて働きます、關東の大坊主黑坊主が出たと云つて天海の姿を見て敵も逃げた位、又或時は手燈を點して本陣に於て勝軍の祈禱いたしたと申す事です

暦

一月九日九星　舊十二月十六日辛亥　本命三碧　東開　先負

△三碧　世の中の事は見合はせるが吉し日あり△四綠　資財の日移轉旅行出入學の方は吉婚禮求職金談婚禮合資業を計る　萬事吉△五黄　[illegible]利に見ゆれ何事も損をする事有る日注意新事手控常の事は吉△六白　[illegible]の日新事手控へ注意せらるべし△七赤　怠りなきやう事有る日新事手控旅行は吉に行儀作法を守らるべし△八白　[illegible]成就の日移居入學金件の願事は吉日△九紫　大願成就の日移居入學名弘求職其他吉△一白　山業等萬吉[illegible]金談婚禮出版名弘求職[illegible]△二黑　我田引水の事有る日新事手控へ[illegible]萬事吉文散財を防がるべし

〈演藝案内〉

京城壽町　壽座
電話五七八番
一月七日八日替り藝題
△前　小三金五郎
△中　難波戰記（木村長門守血判取）
△切　名作左小刀（京人形）

御成町　御成座
電話一九一
七日目藝題
△大和錦散り櫻
陸軍中尉中江明（荒波）吉野□□（天野）陸軍□□□（白根）長吉野姫雄（天野）[illegible]

本町五丁目　稻荷座
一月七日毎日替り物つゞき
△義士傳（竹川一夫）△日露餘聞（竹川九沙男）△船平治（廣澤廣駒）△梅山大佐（京山若光丸）△柳生旅日記（藤川久米春）△忠臣錄大石妻子別（竹幽定忠次（竹川馬生）

明治町　浪花館
電話二六〇
△東京落語柳連雷門助六一行
△一月一日より毎夜五時開演仕候
△落語（雷門助丸）△落語（雷門[illegible]）[illegible]

櫻井町　大正館
電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○正月六日より第二次特別大寫眞提供
[illegible]

京城壽町　壽館
電話一〇五〇
▼東洋軒雷右衞門一行
當る一月元旦より
一伊賀の水月（雷聲）一出世錢（辰城）
一譽之魁（義之助）一出生相僕（松雪）
一元祿雪之曙▼百集美談▼氏戸黄門記
……（三席）…雷右衞門口演）……

早川直營　黄金館
電話二六三七
一月五日より新作第二次特別大興行
△米國バテー會社支店大傑作大冒險大活劇第二魔海　三編四編　四卷上場　世界的連續寫眞として有名な魔海を御存じですか第一二編で特殊方法にて探偵の如何なる色彩を添へるでせう第三四編の第二魔海の圖の眞價な現はします快老人ヘルチン、奸婦イブズ勇壯なアル、美しいアチット、是等の人物が魔海の全編を通じて大活躍をします
△新派連鎖悲活劇呪の矢　全三卷廿五場
△國定忠次俠骨國定忠次の生立より廿八場
[illegible]

登録商標

NEW-KENT CYCLE　THE WORLD'S BEST

ケント自轉車

が諸官衙・諸會社・各商店の賞讚を博し需要激增しつゝあるは是れ獨り堅實・輕快・優美の素質を完備せるが故なり

特約販賣店全國各樞要地にあり

RUDGE-WHITWORTH LIMITED

ラージ自轉車・鬼タイヤー　輸入發賣元

日米商店京城支店

京城南大門通三丁目

本支店所在地（東京、大阪、臺北、久留米）

賛化病院

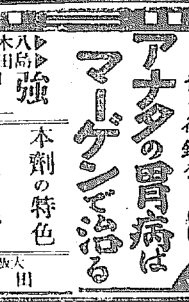
京城本町二丁目　電話二四一番

內科・小兒科　入院隨意

醫學博士　古城憲治

無料施療す　毎日五名を限り

岡山醫學士　上野亮藏



八木田博士御處方　島田博士御鑑査

アナタの胃病はマーゲンで治る

▷八木田藥學博士御處方
▷島田醫學博士御鑑査

強胃消化錠

新式壓搾錠劑

本劑の特色

大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

良職業あり

高尚有利の事業なり今回大に地方支部長を募集す返信料三錢相添へ至急申込るべし直に採用し規定書を送る

東京市芝區愛宕町二丁目十四番地

帝國法律普及會

和洋菓子　家具

京城本町三丁目　増田本店

朝鮮人蔘ホーカースート

滋養たべる丈血となり肉となる應用菓子

▼堀越商店の製菓試験部にて滋養强壯劑眞正朝鮮人蔘其他數種を應用精製したる最新の滋養菓子ホーカースートを試み到る處に販賣す

東京和泉橋　堀越嘉太郎商店（振替東京一五六）

營業品目

罐詰　乾物　海産物　清酒　銘茶　漆器　家具

文具　紙物　荒物　履物　金物　陶器　磁器

鹽鮭　鹽鱒　棒鱈　數の子　日布　昆刺　鰹節

十六寸豆　金時豆　鶉豆　空豆　蒲團綿　中入綿　小袖綿

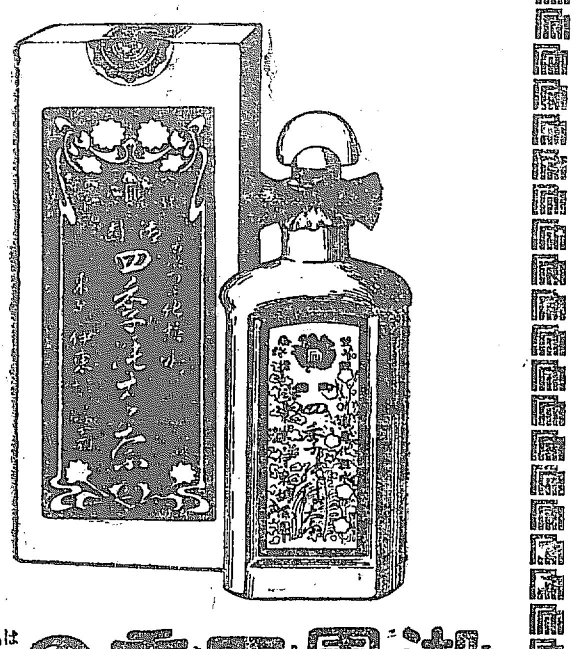
會席膳　吸物椀　重箱　鏡臺　火箱　炬燵　飯櫃

三寶　御宮　飯蒸　今呂　ストーブ　茶瓶　鍋釜

仁川新町　津田兒弟屋本店
仁川宮町　津田兒弟屋支店
京城本町　津田兒弟屋支店

電話七六三番　振替口座京城三八九番

味噌の横綱　ほまれみそ



（定價　金二十錢　金五十錢）

御園四季の花

白粉を美しく附けるには、常に土臺の地肌を整へて置く事が必要です、化粧水御園四季の花は此點に別段の効能があります、即ち洗面後入浴後に用ひて、皮膚を柔軟に肌理を整へ、色艶を麗しく、肌荒れ一切を防ぐに無類の化粧料です

本舗　伊東胡蝶園　發賣元　丸見屋商店

(83)

京城日報
第三版
一月八日
（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

經濟帝國の爲めに

農商務省商工局長 岡 實

[illegible]界の昨年は其歷史の上に一の新紀元を劃するに足るべき諸事多かりし歲なりき。今是を回顧するに際り看過すべからざる事項多きが中に特に記述すべき

△三個の條目 あり曰く工業の大發展、曰く企業の旺盛、曰く工場法の施行是なり。抑々時局勃發當時一時悲境に沈淪せんとしたる我產業界も、其後海外市場の開拓、交戰諸國に對する軍需品の供給、染料藥品其他の國產獎勵上の施設等相襲いで現はれたるが爲めに、其景氣も頓に一變し、昨年に入るや益々隆興の趨勢を强め、企業は愈々振興し工場の新設擴張は相踵いで行はれ、當業者の努力は政府の保護と相俟つて、經濟獨立の素地漸く其緒に就かんとするに至れり。豈慶すべきの至りならずや。則ち是を統計に徵するに各種事業の新投資額は、電氣事業に於て約一億數千萬圓、瓦斯事業に於て三千數百萬圓、紡績工業に於て二千餘萬圓、化學工業四千數百萬圓にして工業商業運輸業等を通算する時は總計四億數千萬圓の巨額に達す。是を大正三年の一億二千萬圓、大正四年の一億九千萬圓に比較する時は、實に盛んなりと謂はざる可からず。斯くの如く盛大なる產業興隆に就て吾人の最も意を强ふするは、從來海外輸入にのみ待ちたる

△化學工業品 が官民の努力に依り、漸く自給自足の域に達したるもの尠なからざるの一事是なり。更に是等の中には進んで海外輸出をさへなさんとするの勢を呈するに至る。今其顯著なるものに付之を例示せんか、染料藥品の如き其大部分を獨逸の供給に仰ぎたりしが爲め、時局に因る輸入杜絕又は激減の結果は染織界をして一時非常の恐慌に陷らしめたるも、其後製造獎勵法の施行に伴ひ又は獨立的民間事業の勃興によりて、既に染織及び醫藥界は大體に於て安定の狀態に入るを得たり、又醋酸製造業の如きも資本を增大し製造能力を擴張したるが爲め內地供給は勿論東洋南洋及び遠く英國にまでも輸出をなすに至り、醋酸石灰亦輸入杜絕の爲め製造を爲すもの多く內地製產額は急激に增加し、ホルマリンは本年中には恐らく輸入防遏の域に至るを得べく、更に亞セリンも關西に於ける工場は益々其規模を大にし本年內には自給自足の境地に達するを得ん乎、硝石は印度南洋方面に對する輸出好況なるが上に濠洲及び英國より新規注文現はれたるが爲め著しく活況を呈しセルロイドは獨逸品に代り頻に世界各市場に活躍し、パルプ亦時局に際して自給の機運を促し漸次設備の完成を告ぐるあり、而して鹽酸加里の如きは製造企業續出し其計畫完成するに至らば或は供給過多ならんとするの情勢に在り、叙上は主として化學工業に就ての事なるが、其他一國の獨立を保障する上の必要品たる

△鐵の製造事業 も官設製鐵所の規模は大々的に擴張せらるゝあり、三菱、大倉組等の大陸に於ける企業益々進捗するあり、內地に於ても民間資本家によりて製鐵事業は愈々隆盛ならんとする傾向を見るありて近く此事業の大發展に接するは明かなる所、續いては原動力機械紡織機等の機械工業は其原料の供給關係上常に多少の故障あるに拘らず豫想外の飛躍を爲し、特に造船造兵事業の如き、又車輛機關車製造の如き、一として往時の面目を一新せざるなし是れ等各種事業の隆盛に連れ勞働者の需要頓に增加し賃銀亦大に昂騰し勞働者の生計漸く向上する等、昨年に於ける產業界は稀有の繁榮を以て經過し、斯くて本年を迎ふるを得たり、是れ實に官民心を一にして產業の獨立商權の擴張の急務を自覺し銳意之が實現に努力したる結果に外ならず、吾人の實に快心に堪へざる所なり、若し夫れ多年の懸案たりし

△工場法 が愈々昨年を以て呱呱の聲を擧げ、今や大體に於て支障なく實施されつゝあるは、我國百數十萬の勞働者の爲め、又我國工業の健全なる發達の爲め之を祝福せずんばあらず、既に法の成れるあり、官民共に其精神の在る所を體し、勞働保護上各々其理想とする處を實現する事に努力し、以て我國には永久に亘りて西洋の社會病即ち勞働問題なるものを[illegible]せざる可からず。[illegible]すしも其天產原料の乏しきを憂へず、又必ずしも資本の大ならざるを意とせず、必ずや他日世界稀れに見る健全なる基礎の上に立て、資本家勞働者親和睦親の間相提携し我經濟帝國の盛運に貢獻するを得るに至らん乎

△之を要するに 昨年の產業界は近年稀なる好況を呈し發展進步の跡歷然たるは吾人の滿悅に堪へざる所なるも、愈々此趨勢に驚し潮流に乘じ剛健不拔の意氣と著實細心の用意とを以て我產業永遠發展の地盤を築成するに努むるの緊要なるもの在り、曩日獨逸の講和提議出現するや、我株式市場を初め一般經濟界は一時混亂の狀態を呈せしが如きは、未だ我產業界の根柢偷確立鞏固たるを得ざるを證明するものなりと評せらるゝも之に對して十分辯解の餘地なかるべき[illegible]に立つて前途に橫はれる平和問題を望見しつゝ益に愈々兜の緒を引締めて、更に新たなる奮鬪時代に入るの壯快を思ふ。

蛇と巳 (下)

烏 堂

◇前の『ひむし』の語も宇美須美が宇麻志、伊麻志などゝ等しく三音に約した形で、他に『ひゞす』『ねべす』『ねびす』抔同列の語は少くない。國語『み[illegible]あづで即ち表である。[illegible]を』の語は此語の『ひもすう』と[illegible]を轉じた形である、古語に在りては『ひ』と『み』は常に通音である。[illegible]一に『みも』といふは『みもすそ』の上二音で『みそ』といふは上下二音を取つた略語である。裳は上方に紐を附ける、で之を『ひも』といふ『ひもす』の上二音を取つたのである、で之に對して裾を『すそ』といふのである。

◇『ひむし』は斯く衣と深き關係を有つて居るが、其作用よりして、又外園を限る意義の名となり又邪魔物、餘計物、附屬物などの意義の語となつて居る。

◇伊勢の宮居の外を流るゝ御裳川は外園を限る意味の名で本地伊勢では川は二流となつて完全に外園を限つて居る。少し[illegible]一の流を『いぶきど』[illegible]『おほとおしを』又瀧戶川などいひ他を『さく(ふとも)』なと『しなつひこ』又千倉川などいつて居る。然紀の川、主基の川の號で之を合しては五十鈴川とも安河とも呼んだのである。

◇餘計物の名としては、爾又麻の屑皮のひゞす、ねべす紙、西宮のねべすなどがある。ねべすは蛭子の字で淡島と共に御子の數にさへ入らぬ餘計物であつた。次に『いも』としては妹は夫又兄の附屬物、芋は親株の附屬物、いも神は額面に餘計物を附著する神、此は云はずともの事である。

◇然るに此樹木崇拜が一轉して動物崇拜期に入り、夫まで木の棒の組合で神の記號を並べて居た十干の神名に十二支獸の繪曆となつた時代に曆が開始され、鉾又杖に蛇を捲付ける裝飾法が[illegible]は、[illegible]に稼した『ヘルメス』神[illegible]といつて此飾の鉾を杖[illegible]蛇の鱗正、蛇の鉾鱗なといふのも夫れである。即ち蛇は鉾又杖の餘計物でなくとも少くも附屬物であつた。だから此意味に於て蛇にも『ひむし』又『みむし』などの名を與へたのが問題の『へみ』や『み』の名を生み出した原語である。

◇希臘のヘルメスといふも『ひむし』の『ひ』下に『る』音を呼んだまでの名で、これは[illegible]ボローンの附屬神即使神の意味から與へられた名である。埃及ラ神の使鳥が『イビス』であるのも、大國主命も大黑の附屬神少名彥がエベスで蛭子と同じ字を當てられたのも、要するに意味は一である。希臘の東傳說の女と蛇の關係でも、神の日からは蛇は餘計な饒舌をする邪魔者でもあつたに相違ない、併し此餘計物の意味が一旦希臘の意味に轉じたとなるや[illegible]或も俄かに靈の神と成居た[illegible]も渥し玉ひて、人間の慾の皮の果報の的と立ち玉ふぞおかしき。

『大正の靑年と帝國の前途』を讀む (九)

十二月十二日 上海に於て

大 谷 光 瑞

希臘は中立せり。英佛百方之を誘ふも終に從はず。彼思へらく、塞耳維黑山國曾て英佛に聽て、其國を亡せり、今又羅馬尼、英佛露に聽て、其國を亡せんとす、吾焉ぞ其覆轍を踏まんや、宜しく嚴に中立を維持し以て戰の終るを待んと。何ぞ知らん、名中立と云ふも實は存せず、電信は奪はれ、國都は脅かされ、軍艦は奪はれ、今又陸軍の武備を撤せしめられんとす、立國の實何くにありや。宛も蟹蟹の足を折るが如し、足遂に亡して兩鋏に及ぶ。堅甲完しと雖も、遂に存すべからず。希臘今にして英佛に與する能はず、獨墺に與する能はず、英佛若勝たば國彼が附庸となる。獨墺遂に勝たば、國又彼が隸屬となる。名自主と云ふも、實は滅亡に等し、彼の羅、塞、黑と觀を異にすと雖も、亡は一なり。勃牙利は然らず、斷に塞を破て以來、マセドニアに於て英佛と相對し、其境を犯さしめず、今又羅と戰うて露羅の聯軍を破る、其境土を闢き、威武を揚ぐる事、前日に倍せり。往年巴爾幹諸國の土耳古と戰ふや、連戰連勝終に土耳古を屈し、和を講せしむるに至る。此時最も力戰せるは勃牙利なり、而して戰勝の後、羅塞希等許さず、終に三國卸て勃を攻む、其勃の大利を得んとするを嫉み、是をも戰勝の餘礦を奪へり。羅の如きは殆ど土耳古と交戰をなさずして、而も其利を得んが爲、首都に於て講和會議を開かしめ、遂に勃よりドブルヂアの南端を奪へり。三國皆曰く、人の爲に勞する者は牛馬なり、坐して獲を收むるは人なり、爾來其備をなさず。勃牙利は然らず。臥薪嘗膽以て今日に及ぶ。四國の人口羅を除き、三國大なし、羅獨り三國より六割の多數[illegible]有せり。然れば勃の强きは、人衆[illegible]非ず、軍備の整頓に在り。彼今獨[illegible]附すと雖も、是れ獨墺を借て三[illegible]に甘心せんとするに過ぎず、自から[illegible]其備をなさば、獨墺の兇暴と雖も、之を加ふる能はず、却て援て與國となせり。自から備をなさず、他に賴て僥倖せんと欲せば、英佛露の强援を以てするも、終に存する能はず。故に云ふ、國小と雖も、兵强ければ存す、國大なりと雖も、兵弱ければ亡す。存亡の機は、大小に非ずして、强弱にあり。

朝鮮趣味の俳句

雉 子 郎

此頃出版せられた『綱京日俳句鈔』は朝鮮に住む我等が、其周圍にある風物に對して、思ふ儘に詠出でた所に獨特の興味がある。今試みに抄出して見れば、先づ新年では

鮮語に解し得て嬉し町の春　義明
繫がれて地を搔く騾馬や街の春　容堂

（鷄島にある弟へ）
お雜煮や汝思はむ母とあり　容堂

など、あながち懷鄕病といふのではなく、何氣なしに內地の弟を偲ぶ所に淡い哀愁を覺ゆるではないか。目出度い方で、婚禮を詠んだのには

列作や嫁入通る土手麗ら　合歡女
連翹や褒る兄への飾り馬　容堂

など、嫁入を擔いで行く人足などが眼に浮ぶやうである。人足といへば擔軍なども俳句になつて見れば雅致があるから面白い。

二タ擔軍行く巫女の大鼓や搔婆雀　昌山
下廟や擔架作る賣る町外れ　山民

擔軍ばかりではない豆腐屋の鮮人も滑稽趣味の離きものがある。

粘適や呼ぶ豆腐屋耳遠し　容堂

人足の可憐なのには

子雀や子供ばかりの村賦役　求青

更に子供の方で朝鮮趣味の書堂はうかと見ると

李咲く書堂の經や老曾　韮城
水草生ひ江の知識が書堂の兒　雉子郎

の名あるまで、日曜も休まぬ素讀を續ける學童は憐れなものである。

朝鮮といへば直ぐに思ひ付く溫突の句は割合に少いが

移り來て天井貼りし連翹花　竹水
溫突の起居に慣れし室の梅　春

後句は連翹といふので、溫突といつてなくとも直ぐに聯想せられる。

扨その連翹は、內地ではあまり眼に付かぬが、朝鮮では早春第一に咲く花として多く詠まれる。

連翹や門を見て甕を賣る　山民

連翹についでアカシヤも內地には稀らしい方だ。

アカシヤの花深き二軒隣哉　東村

など、といつた輕さが面白い。

動物の方では、犬や牛や騾馬や、鵲や、鷄や、朝鮮趣味を縱橫に詠んである。

梨咲くや食に倦けて犬遊ぶ　山民
葉柳に牛繫がれて眠をり　盧中子
幾度か膝折る騾馬や背芒　雉子郎
木々の芽や地を搔き步む鵲　北星
葛山の上飛ぶ鶯や雲の峯　容堂
負はれたる籠の鷄鳴く長閑さよ　山民

食ふに飼はるゝ犬は追々少くなるやうだ。負はれたる籠の中で鷄くのは朝鮮式のよい見付所である。

朝鮮人の風俗習慣等を詠んだのに

春風や驢馬に鞭つ遞送夫　山民
春霜や農奴の著り皆白衣　橙黃子
空壜を並べて邪魔や春の月　碓川
鮍樓まで市場溢れて饅哉　橙黃子
樂人を乘せて凉看や江の霞　同
麵を煮る火に松笠餘寒哉　同
衰へし國の祭事や凪萬散る　宵丘

濟州島
夏空や海女五百人浮ぶ灣　浩舟
秋立つや額に白き冠疵　容堂
廢れたる鐘を通す新酒哉　義朗
もとの宦官枯菊の株に睡然と　宵扇
雪の窓に行人見るや老儒生　同
冬の夜や朝鮮劇の鉦亂打　陵雨

四季に亘り、千紫萬紅とりどりに興趣橫溢して居る。天然に人事を交へたのには。

水原長安門
門壁に凭りて小店の日永哉　橙黃子
行人の築きし礎ある花野哉　山民
三度崩れて土塀其きゝ秋の蟬　同
滯涸れて廢壁の上の家閉る　宵扇

朝鮮の乾いた空氣は爽快極りなく

蒼天を行く鶴白し初夏の窓　容堂
晴れも見る空淋しよ丘落葉　東村

は十一月頃、丘に上つて黃色の透き晴切つた空を眺める時、洋畫を目前に擴げた樣な心持は、朝鮮で無ければ味ふ事の出來ない所である。反對に

雪解の大氣心地よき木立哉　露風

の濕ひも亦嬉しいものである。

朝鮮らしい氣分の人事には

木の芽吹く廢寺繕ひて官衙哉　沛子
粗普請に町伸びて行く闊哉　北星

に新開の內地人市街を思ひ

鮮なくや砂丘數ある廢れ色　東村

に古き鮮人町を偲ぶ。

殘る蕊工事移りし廢れ家　雉子郎
初冬や鑛山去る衆に店たゝむ　東村
春風や工事の人にかゝる酒旗　求青
春寒の亭や卓なる造り花　雉子郎

此等は皆鐵道などの工事と共に出來、又移り行く、粗末な家でからういふ人が集つて來たのであらう

金魚くれし[illegible]女哉　宵扇
行く春や去ると定めし悔なる地　田打夫

殖民地的氣分として殊に趣味が多い

怙㤏僧もなき地に逝く子哉　雉子郎

は悲しむべく

客に惹引いて蠶兵屯所哉　韮城

の落付と

裏畑に干の葛持ちて夏野人　雉子郎

の安心が欲しい。

內地にもある事ではあるが、特に朝鮮として面白いと思ふのは

任官の服華やかや水仙花　北星
足袋白く衣食の道を求めり　橙黃子
漂泊や病むなし四月の溫泉　湖外星

幸と不幸と、好個の對照である。句としては其何れにも情趣を見る。自讚自贊の嫌ひはあるが、半島在住の諸兄に、此の如き朝鮮趣味を發揮したることの句集の一讀を强要するものである。（京城日俳句鈔定價一部三十錢、郵稅二錢 發行所龍山漢江通十一、楠目省介）

新年詩壇

（日報）

○丁巳新年口號　高井 檉堂
早梅開處烟生紅。氣暖屠蘇半醉中。又是元全吟骨健。笑迎七十八春風。
評曰 笑迎七十八春風、壯快無比、異可觀也、

○同上　辻 [illegible]
曉蒼蒼翠瑞氣滋。萬戶千門飄旭旗。步隨鵬君莫笑。春風已動古高麗。
評曰 雍容之音

○同上　淺野 棲雲
憶昨邦家慶事多。今朝椒酒意如何。半四海新瞰麗。春風萬里傑恩波。
評曰 平淡之中有味

○同上　西村 秋湖
柏酒三杯迎歲新。野人頌語太平春。朱門白屋韶風遍。遙向東方拜紫宸。
評曰 又是雅頌

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元 冨安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 冨安京城支店
電話四四三九番 振替口座四三三九番

英語入門雜誌 ABC
發行所 東京市麴町區富士見町 研究社 振替東京二八六〇一番
御待ちかねの新年號 附錄 不規則動詞かるた
やさしいやさしい英語入門雜誌
英語のA字も知らぬ人が讀むと[illegible]
定價一冊十錢 [illegible]

中學三年程度 中等英語
趣味充滿せる新年號
勳章の話
全誌に活躍せる記事悉く面白く平易にして明快親切に
周到なる新年號を見よ!!
定價一冊廿四錢 新年號に限り [illegible]

日本一理想的 英語研究
努力たる歷々新年號
戰爭の逸話
英語雜誌界最高の權威
以て世に許されつゝある本誌
新年特別號の盛況に接せよ
定價一冊廿四錢 新年號に限り [illegible]

面白く解り易い 英作文雜誌
生きたる材料に富む新年號
受驗準備
面白く解り易く英作文練習
新式英語
解答親切
定價一冊十二錢 [illegible]

面白いタメになる 中學生
評判のステキな新年號
倶樂部と趣味
模範的新年號だ
壹百名士小傳入寫眞
版はステキだ 其他見くべし
讀むべき記事
定價一冊卅錢 新年號に限り [illegible]

◎軍隊御慰問

畏き邊にては嚴寒の砌長江沿岸碇泊中の第三艦隊漢口駐屯の中支那派遣隊天津駐劄の北支那守備隊及び朝鮮駐劄軍司令部第十九第二十師團各部隊慰問の爲め近々侍從武官を同地方に御差遣各將卒に對し優渥なる聖旨と共に酒肴料及び捲煙草を賜はるべしと（東京特電）

◎米司令官更迭

今回新に米國亞細亞艦隊司令官に任命されたるナイト提督は本月下旬同艦隊根據地馬尼拉に到り旗艦ブルークリー艦上に於て前司令官ウヰンターハルター提督と會見交迭式を擧ぐべしと（桑港電報）

新年所感（下）

三井物産京城支店長 高野省三氏談

□戰時及び戰後の食料問題

此機會に於て一言歐米各國に於ける食料品の大宗たる小麥の需給狀態を述べて食料品問題の研究に資したいと思ふ

▽小麥の大減收 歐洲に於ては自國産の小麥のみを以て其需要を充たすことは出來ぬので米國、濠洲及び南米より多量に輸入して居たことは周知の事實である、然るに歐洲の各輸入國が時局の影響を受けて、勞働者の不足、耕地の荒廢其他の關係より何れも昨千九百十六年の秋作は平年作以下であつたやうである、歐洲各國への供給國である米國の狀況は平年作十億ブッシェルのところ昨年は六億ブッシェル、即ち四割の大減收である、加奈陀は一昨年三億七千萬ブッシェルのところ、昨年は僅かに一億ブッシェル即ち二億の大減收である、其他濠洲も三割減と傳へられ南米も亦其作柄良好でないと云ふことである、兎に角世界を通じて小麥の大減收は疑ない事實である

▽交戰國と食料品 一方各交戰國に於ては食料の制限等が自衞上行はれて居る故、素より需要の量は例年より減り居る事は容易に想像し得るところであるが、一般的に研究すれば餘程供給方面が不足であると信ずべき理由がある、殊に近時傳へらるゝところによれば、獨逸では全く食料に缺乏して居る、獨逸は平年五千萬噸の馬鈴薯が産出されるのが開戰後は僅かに二千萬噸の收穫しかないといふ事である、此に依りて見るも獨逸に於ては非常に食料が缺乏せる事が講和提議をなすに至つた原因の一であると傳へられるが、或る程度までは事實であるらしい

▽平和後の食料問題 戰爭中は小麥の需給關係は現狀を維持するかも知れぬが、一朝平和克復の場合には、廣き意味に於ける食料品の移動が非常に行はれはせぬか、即ち各交戰國が競うて米國濠洲其他の供給地より仰ぐ事になりはすまいか今後の事實に徵する外に途はないが今日に於て此の感じがなきにあらず、それで、近時新聞にも傳へられたる如く亞米利加で小麥、麥粉の輸出禁止をすると云ふ議論が有力者の間に唱道せられて居る事も此邊を見越して居るのではあるまいか、若し然りとせば供給國に於ける小麥及び麥粉類の相場の騰貴を誘致する事になるが、其の程度は今日豫想し難いが、其の昂騰すべきは察しられる、但し運賃保險料其他の低落によりて或は廉くなる事もないとは云はれぬが、兎に角需要國に於ける麥類の値段は供給國に於けるよりも高くなると思はれる、何れにしても歐米人多數の食料品たる小麥の大減收が米の需給にも何等かの關係を有して來りはせぬかと思はれる節もある、即ち小麥の不足を補ふ爲め西貢暹羅等の米に向つて需要が起るとか、或は又日本米に對する需要が起ると云ふ事になりはせぬかとも思はれる故、此點について相當の注意を拂ふ事は必ずしも無益の事ではあるまい、尤もこれは一種の想像說であるが姑らく茲に一言して成行を見たいと思ふ。

◎朝鮮鑛業界の現在及將來（上）

大正六年は其の鑛産額三千萬圓を超過す可し

朝鮮は由來諸種の鑛物に富むも其の操業概して幼稚且つ姑息にして二三外人の經營に屬する鑛山の外は殆んど露頭部の亂採に限られ永遠の計を忽諸に附したり然るに新政施行以來當局に於ては大に意を鑛業の開發に注ぎ爾來鑛床調査を續行して鑛物賦存の狀態並に地質の眞相を闡明ならしめ、新業者の便に資すると共に一方內地の有力なる鑛業家資本者等に對して企業を誘致せるより豐富なる資力を以て大規模の操業に着手するもの漸次多きを加へ從來の小鑛業家亦た之に倣ふて次第に舊態を脫し秩序ある經營に移るものと共に增加の傾向を示すに至れり、殊に歐洲動亂に依る鑛物の累騰は著しく我鑛業界を刺戟し最近鑛業令の實施と相俟つて一方には出願件數に異常の激增を與ふると共に一面規模の擴張、設備の整頓を促進せしこと鮮少ならず鑛産額また多大の增加を示せり、先づ

▲出願件數を案ずるに大正五年にありては一月以降九月末までに於て既に二千三百八十六件を算し之を前年同期の出願數に比すれば千八百七十三件を增加し一時異常の激增を見たる併合當年一箇年間に比するも千三百五十五件の增加を見たるのみならず同期間に於ける許可件數亦た五百九十三件に達し之れを前年同期の件數二百九十三件に比すれば三百件の增示を告げたり、而して大正四年末現計に依る許可鑛區は千二百五十件を數へ其の稼行鑛區合計三百九件なりとす、次ぎに稼行鑛山に對する操業的施設の現況如何といふに鮮內主要鑛物並に主要鑛山に就ては昨年末本紙既載の通りなるを以て茲には其重複を避け直ちに進むで最近

▲鑛業開發の趨勢に就き一言す可し、即ち三井株式會社の价川鑛山は出鑛の機運到來し大正四年六月坑所より京義線新安州驛に至る十九哩間に專用輕便軌道を敷設し以て七月營業を開始し同年中には一萬五千餘噸を搬出したるに過ぎざりしも大正五年に至りては一月以降九月迄に於て既に二萬七千餘噸を搬出し之を本溪湖煤鐵公司に賣鑛したり、また古河合名會社龜城金山の採鑛は大正三年に入りて大に進捗し同年製錬場の建築に着手せるが歐洲戰亂の勃發に會ひ一時工事を中止せしも大正四年五月再び工を起し五年四月其完成と共に製錬を開始せり、而して三菱合資會社の遂安鐵山は採鑛愈々進捗したるを以て兼二浦製鐵所の竣功を俟ちて採鑛搬出の運びを見る可く、從來米國會社に於て採鑛中なりし甲山銅山は大正五年五月久原鑛業株式會社の經營に移り精錬其の他一切の施設完成して同年十二月一日作業の開始を見たり、尚ほ外國人の經營に係る遂安、昌城及び槐山の金鑛は何れも其の規模を擴張し內地人に依りて經營せらるゝ朔州、長湍、金海、永同、泰川及び熙川等の諸鑛山も亦た採鑛若くは探鑛を開始し其の他鉛、亞鉛、重石及び黑鉛等の如きは戰時需用の激增に伴ふ價格の暴騰に依り之が探鑛及び採鑛を企つるもの續出せり

▲製錬の方法に在りては金鑛は混汞青化の二法夙に行はれたりしも施設の完備せるは寥々たりしが大正四年十月久原鑛業株式會社は鎭南浦に製錬所を創設して以て買鑛製錬を開始し、鐵鑛の製錬は從來の幼稚なる鞴吹を以て農具其の他の日用品を作製するに止まりしが之等は近年燃料の高騰に伴ひ收支不償を告げ殆ど廢滅に瀕せむとするに當り三菱合資會社は兼二浦に銑鐵製造所の設立を計畫し大正三年工事に着手せり、該製鐵所は歐洲動亂の爲め一時工事に齟齬を來したるも大正七年中には操業開始の運びを得可く又た砂金の採取方法は舊慣を墨守するもの依然大部分を占むと雖も近年稷山鑛山及び順安、寧邊砂金地等に於てドレッジを使用し大規模に採取するの目的を以て調査を開始するのみならず稷山の如きは既に其の調査を了りて機械の建設に着手せり

◎哈爾賓の活況

支那人商工業の旺盛

▲雜貨商の巨利 哈爾賓の商業は雜貨商、食糧商、金融業を以て大宗と爲す雜貨商の最も殷盛なりしは十年前にして爾來逐年衰退しつゝありしが偶々歐洲戰爭開始以後外貨の輸入停滯せし爲め雜貨商中貯藏を有する者は坐らにして巨利を占め而かも其後日本にて模造せる雜貨輸入されしかば其收益は昔日に倍加するに至り最近二年中に於て營業を得たるもの尠からず

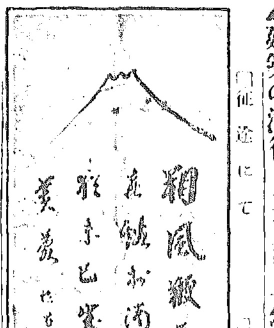
▲糧食商の大發展 哈埠糧食業の最も盛んなりしは日露戰爭時代なるか其後北滿糧食の輸出は悉く哈爾賓を中心として行はれ來りしを以て本業は雜貨商に次いで繁榮しつゝあり唯支那商は團結力薄弱なりし爲め漸次露國糧業者に壓倒せられ其支配下に立つの已む無きに至りし處支那濱江關監督侯延爽氏は大に之を慨し前農商部參事王厝生氏と相計り埠內支那街に農產交易信託公司を創立し市場操縱の權を收めたれば昔日支那街を地稅重しとなし相率ゐて露國租界に還りし支那糧商も今日にては再び復歸し來るもの多く一昨年は僅かに散戶の歸來せしを見たるのみなりしが昨年には增して百餘戶となり猶大連にて營業しつゝありし糧商の移轉するものもあり爲に信託公司の事業は益々發展し年一割の配當を爲すの盛況に達せり

▲金融業の進境 哈市に於ける支那金融業は二種に別る一は錢商にして專ら金銀貨幣の兌換を司り兼て糧業を營むを常とせるが近年ルーブル下落し糧業發達せるより雜貨商及び糧業專門商等と共に當十倍の利益を得たり又他の一種は銀行業にして哈市現在の銀行業者は支那及び外國人の經營せるものを併せて十餘に及べり然れども皆歐洲戰亂の影響と支那時局の餘波を受け供給の能力十分ならず需要を滿たすに足らざるを看取したる前記濱江關監督は資本家と謀りて一昨冬濱江農產銀行を組織したり同行は最初三十萬ルーブルの資金を以て開業せしも其後漸次株式を增募し現在にては資金四十萬ルーブルに上り在庫金も夏時に五百萬ルーブル冬季に三百萬ルーブルを計上するに止まらず黑河にも支店を設け年利二三分を收納し居れるが此種の低率は他に類例を見ず依りて資本百萬ルーブルとなし天津、烟臺、上海奉天及び北滿の各處に支店を設くる豫定にして本年は多大の純益を收む可く推算しつゝあり

▲製粉業の隆盛 麵粉業は即ち汽力製粉業は其の始め二三露人の經營に係れるものありしに過ぎざりしが近年支那人の此事業に從ふ者起り彼等昨年の純益は一割以上に上りし

▲油房の增加 機力を使用する油房も民國三年時代には僅かに三戶あるのみなりしが今日にては增して二十餘戶に達せり其收益の多きは推して知るべし

▲建築の流行 去年支那街に於ては建築大に流行し樓房六、七十座を增せる有樣にて貸家の如き一戶二三十元を投ずるも尚借る能はず地價の如きは殆んど漢口上海と相若くに至れり



征途にて 白水參謀長

◎全州叺の改善

全州地方に於て生產する叺は從來品質粗惡のもの多く一般に不評なりしが其筋に於て檢査所を開設して嚴重なる檢査を施行し不良品は不合格として著しく價格を安くすることゝなりたる爲め生產者にありても茲に鑑みる處あり爾來大いに改善に努めたる結果未だ日尙ほ淺きに拘はらず從來に比し著しく優良品の生產を見るに至り最近檢査の結果を見るに檢査所開設以來合格品は殆んど絕無なりしもの今回は檢査を行ひしもの三分の一以上は合格品にして中等はより以上の數を示し不合格品は極めて小數に過ぎざりしといふ

◎愛婦海軍慰勞

愛國婦人會朝鮮本部にては一月四、五兩日間練習艦隊入港常磐乘組下士卒約六百五十名京城見學の爲め入京せるに對し景福宮內慶會樓に接待所を設け

◎北滿有望の事業

左は濱江稅關監督侯延爽が近く調査せる者なり同人は哈爾賓農產銀行農產信託公司等の創設者にて北滿に於ける支那側の經濟發展に就き常に甚大の努力を注げるが歐洲戰爭の現時機を利用し支那人をして左記事業を計畫せしめん爲めに目下熱心に提唱しつゝあり

▲麻袋業 麻袋は專ら農產物輸出用に供せられ東三省に於て每年需要せらるゝ者數百萬に上るも多くは之れを英國より輸入し支那人にして斯業に從事するもの無し今や歐戰方に酣なるの日に當り英國より輸入するは運搬困難なる而かも十分の供給を求むべからざれば此際を機とし麻袋製造所を設けて自製に從はんか英國品に比して廉なるを得べく又能く需要を滿たすに足るべし

▲製紙業 東三省には製紙の原料豐富なれば資本を糾集して製紙場を建設し歐洲產紙の輸入不能なるの機に乘じ盛に製出すれば大に其販路を擴張し得可し

▲熟皮業 東三省には盛んに羊毛の生皮を產出するにより哈爾賓に製皮場を設けて熟皮業を經營せば從前の如く三姓等より輸送し來る生皮を更に哈爾賓より京奉一帶の地に移送して之れを熟皮としたる後再び東省に逆送し以て需要者に供給するの煩を避け直に各種生皮を哈市に集めて精製する時は製造業者の受くる利の多大なる事蓋し言ふを要せざる可し

▲製革業 東三省の住民は多く革履を著く勞働者を以て殊に然りとなす若し軍人所用の靴を製造せんか其販路の大なるは勿論にて幸に現在にては未だ外人中に大規模の製革業を營むもの無きが故に巨資を集めて此業を起さば得る所大ならん

▲森林伐採業 東清鐵路附屬地內森林は已に露人の爲めに伐採し盡されたるも松花江沿岸には尙幾多の森林あり加ふるに山谷の險なく又運搬の便ある上現下の如く哈埠に於て建築大に行はれ木材日に昂騰するの時に此事業を營まば土地を墾耕するに比し常に十倍の利益を得べしと

人事消息

▲大塚常三郎氏（總督府參事官）七日夜歸任 ▲稻垣長氏（鐵道局技師）同上 ▲大倉喜七郎氏夫妻 七日夜南大門驛通過奉天へ

◎露支豪劃界問題

[illegible]は他日重大の紛議を惹起する虞れあり[illegible]委員長に外交部の章祖申、王景[illegible]界碑を移して國土の喪失を致すが如[illegible]

◎南北滿洲境域

[illegible]りとなし商廳東三省各官廳に電報を送り本件に關する意見及び詳細な[illegible]

（三）遼界地方の雜[illegible]（四）境外の滿[illegible]（五）駐軍守衞（六）移民の墾荒

[illegible]トに手を差し入れ財布を掏らんとしたる所を捕て尾行しゐたる本町警察[illegible]

▲進行方向 東北東▲記事 北西風強し▲警戒區域 全部の沿岸

◎南言北語◎

獨逸の新聞は講和提議が拒絕せらるれば戰場に於てお禮を申すなど大分獨逸式を發揮して居る▲お禮を申される程の事もないし申された處で何ともないが鳥渡厄介なのは例の潛航艇の跳梁位のものだ▲初めの內は潛航艇の活動が珍らしかつたので其れ出たや其れ出たと大分騷いだが今では誰れも吃驚しない▲現に葡萄牙から西班牙の沿岸では大分跳梁して每日殆んど擊沈船がある▲而し以前程の問題にもならなければ世人も其う驚いて居らぬ▲潛航艇と云へば英國が主として潛航艇狩をやつて居るが其の方法は海中の要所々々に鋼鐵製の網を張つて浮標が付けてある▲潛航艇が引つかゝろうものなら其の浮標が動くので巡邏船や監視船は其れ取れたと全くの魚扱ひにして居る▲而して一匹ヤ一艘取れたる五千圓の懸賞金が貰へる▲處が時として浮標が動くので早速走せ付けると大きな鯨などが引つかゝつて居るなどは面白い▲軍艦でも商船でも潛航艇に遭ふと直ぐ轉舵して遠かるが餘り近距離で其の隙のない時は乘りかけたり突き破つて沈める▲獨逸でも大に考へたものと見へ近來機械水雷に潛航艇の潛望鏡に似たものを附著して流して置く▲軍艦や商船で周章者が之れを見て其れ潛航艇だと衝突をやらうものなら大變あべこべにドカンとやらるゝ▲と云へば滑稽な樣なが潛航艇防禦が一番の骨折れだ▲獨逸も其處を知つて居るから益々其の跳梁を擅にさせる事だらう▲新春の政界は極めて平穩であるが每年政界の巨星が謀を廻す處は湘南地方である▲今春も客から湘南に去つた政客中の巨星には小田原に山縣公あり逗子に平田子あり大磯に加藤子あり腰越に原氏あり伊豆長岡に犬養氏あり鎌倉に花井氏あり國府津の大隈侯は相變らず意氣軒昂▲在京代議士連中も鎌倉に國府津に又た小田原に箱根修善寺熱海等に其れ〱陣取り孰れも來るべき政戰を豫期して準備をさ〱怠りないと東京よりの短信

郵送紙價改正

新聞用原紙及印刷諸材料暴騰に付全鮮各新聞社聯合大會の決議に基き大正六年一月より一ヶ月分新聞代五錢を値上げ致候就ては郵便單送新聞代金を今後

壹ヶ月分（郵稅共）七十錢
三ヶ月分（郵稅共）二圓
六ヶ月分（郵稅共）四圓
壹ヶ年分（郵稅共）八圓

に改定仕候尤も前記計算は前金御納入に限り申候間左樣御了承願上候
右謹告仕候也
大正六年一月五日
合資會社 京城日報社

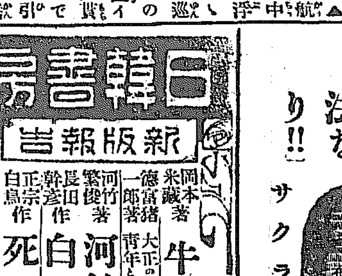
最も安價德用の無煙煉炭

炭界活躍 復又た暴騰せるも
官營平壤無煙煉炭は此際絕對に値上せず
小 ピッチ入 二ッ穴（千三百個）拾壹圓七拾錢
寶 粘土入 三ッ穴（千百個）九圓七十錢
山東無煙塊炭 卸賣一噸十二圓 小賣十三圓五十錢
京城古市町 電話九四一 苦米地商店

世界各地 信用ある藥店食料品店取次販賣
MALT-EXTRACT KO-BONBONS
理想的栄養 世界的名聲 現代的特色
セキトメ ボンボン
たんせき氣管喘息病に苦む人音聲家演說家旅行家等のポケット中に必ず一罐を用意せらるべし
和光堂
定價 小（十六粒入）金廿錢 中（卅粒入）金卅五錢 大（五十五粒入）金五十錢

小兒齒科 口腔衞生科 齒列矯正科
京城府龍山榮町 龍山齒科醫院 電話五五五番

日韓書房 新版報告
岡本米藏著 第四十七版 牛 定價一圓 送料十二錢
德富猪一郎著 大正の青年と帝國の前途 定價八十錢 送料十二錢
河竹繁俊著 河竹默阿彌 定價一圓六十錢 送料十四錢
長田幹彥作 白紘集 定價九十五錢 送料十錢
正宗白鳥作 死者生者 定價九十五錢 送料十錢
京城本町二丁目 [illegible]

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 [illegible] 振替京城五七番

京城旭町一丁目 内科小兒科 入院隨意（普通病室並に隔離病室）小林醫院 醫學士 小林千壽 電話六九二番

[illegible]界問題に就きては支那政府も既に之を重大問題なりとして連りに調査中なるが何分幅員の廣濶なる露支兩國界を一氣呵成的に劃定する時[illegible]

[illegible]く多大の餘剩生産を爲して外國[illegible]會は一月五日を期し完成立したる[illegible]而して崇院總裁賈桑業亭氏を之れが[illegible]

[illegible]據ば氏は曰く今日米國に於ける工[illegible]府は該劃界問題に就きて歐洲各國の界域石標に關する先例を援り私かに[illegible]

[illegible]內の需要を滿たすに足るまでに[illegible]餘名も首識に參與せしめ最も愼重に國標國土の保持に努む可し(奉天)

[illegible]を施行せざるを得ざれば此際先づ南北滿洲の境域を限定し置くの要あ[illegible]

[illegible]が產業上に及ぼす影響を憂慮し居れ[illegible]局に左記六項に對し特に注意すべきを命せり(奉天)
(一)道路鑛座(二)匪賊剿討問題

[illegible]めに勞力を有せず又資力を有せ[illegible]大門驛改札口にて乘客の混雜に紛れ込み仁川行きの某旅客鮮人のポケ[illegible]

[illegible]低氣壓の位置 [illegible]山沖 ▲低氣壓示度 七六三粍

南山をして一大公園たらしめよ

▽獐や鹿を放飼にして

國師壇上には大展望臺

―林學博士本多靜六氏談の二―

その造り方は高い所で高いものを設けるのだから風が強く當るから成るべく頑丈にする必要があるから切石で積上げ中は螺旋狀にして上方に間四方位の座敷を造る、座敷は見通しの出來るやうに

◇四方を開け放つて 置くが冬は寒いから硝子張にする、天井裏には眼界に現はれたる限りの附近の山川風物をパノラマ式に書いてそれに一々詳細の地理的說明を附しておく、卽ち此の展望臺に上つた者は天井の繪と照し合せて人の說明を待たずに地理上の智識を得らるゝやうにする、此の方法は教育上から言つても必要なのである、之れと同時に

◇展望臺の下の茶店 では例の天井のパノラマの圖を縮寫した繪葉書を販賣させる、此の展望臺は市に於いて成功した有力な實業家に寄附して貰ふ、建築に當つて自身の名でも彫りつけておけばその名と共に美擧が千古に遺るから是非一奮發して貰ひたいものである、眼の惡い人のために展望臺の上に

◇大きな望遠鏡を備 へて無料で使用させる、之れも商人の廣告になる事であろうから寄附で出來る、唯その廣告が餘りに毒々しくならぬやうにしたい尙ほ臺上に大冊の遊覽人名簿を備へておいて上つた人の姓名なり詩歌なりを書きつけるやうにする、よく歐米を廻つて見ると世界各國の人がいろ〳〵

◇面白い事を書き誌 してるのを見る事がある、其處に圖らずも自分の知人の筆蹟を發見したりするのは愉快である、尙ほ此の國師壇上が展望臺に相應しい事は此處には櫻だの槐だの濶葉樹の頗る大きなのがあつて幽邃陰鬱な松林を出て此處へ來て見ると明るい感じのする濶葉樹があるといふので其處に

◇一種の爽快な心持 が湧く、下から段々と上つて氣分を變へるといふ事は必要である、第五には山上から城壁に沿うて降りてゆくと東南に方つて陸軍用地の境界線に鐵條網の張つてある所がある此の城壁を利用して一方に高さ七尺の柵を造り、此の附近一帶を疎林にする

そして最初朝鮮特有の獐又は牡一頭に牝五六頭の鹿を放して置く、中には谷川があるから鹿の水浴場にする そして菓子を與へたり鹿の好む食物を與へたりしてゐる內に

◇直ぐに馴れて終ふ 鹿が繁殖して來たら更に擴張する、一體大公園になると人の行くを忌む所、利用されない所には原則として此種のものを設ける、人間殊に子供などは妙なもので鹿が一頭居つても其處に足を向けたがるものである、斯くして公園の全體が出來るのである、第六は疎林の北方

◇城壁に沿ふて上る 道の兩側に天然植物園を造る、此處には朝鮮古有の天然植物を集めてそれをいかにも自然に生へたやうに植ゑる、人が植ゑた事が直ぐ判るやうに揃へて植ゑたりなんかしては可けない、樹名を表はす札も普通の植物園にあるやうな官式のものでは駄目だ、自然に生へてる木を見て『此の木は何んだらう』といふ

◇智識慾の起きた時 始めて眼に入るやうに木の下に附しておく、その札も三寸に五寸の亞鉛板がよくその札には普通の樹名と朝鮮の方言と外國人にも判るやうに羅甸名を書きつけておく、大きな木ならば釘付にしても障りは無い、樹は平凡に行列させずにフラ〳〵と

◇灌木が立つてるか と思へばその下には可憐な草花があつたりして自然の森林と見らるのが新式の植物園である小學校の庭にある木などを見て居つて山へ行くと同じ木でありながら何んの木だか薩張り解らぬ事がある、之れは病的に發育してゐる結果である

◎暖かくて景色が佳くて

青島は實に氣持よい

―岩村練習艦隊司令官談―

青島へは一年半振りに廻つて行つたが舊知の處だけに非常に愉快であつた青島は氣候は溫暖であるし水は清く

◇山は美しく 何時まで見て居ても嫌氣のせぬ處だ殊に予に取つては最も懷かしい忘却し難い處である沈沒船の引揚げを爲たり機械水雷の掃海を行つたりした港から上陸すると美なる山水態依々として幾多の舊友と共に迎へて呉れた青島は

◇予の居つた頃 に比べて大いに發展しては居らなかつたが而しながら他の新開地によく聞く處の官と民とが油と水の如く相交はらず上下相嫉視すると云ふ風の事は毛頭もなく官民一團和氣として

◇靄々として 居るが此の點は實に嬉ばしい事と思つた、青島は我邦人の山東に經濟的發展を爲す重要なる足溜りであるばかりでなく多量の鐵と石炭とを產するから將來工業地として大いに發展し得べき運命を持つて居るから戰後に於ける重要なる

◇工業材料の 供給地となるであらうと思はれる然し乍ら青島はまだ戰時の占領地帶であつて平和克復の條約を見た上でなければ海のものとも山のものとも云ふ事は能きぬ然らば我國は平和克復の條件として如何に處分すべきかと云ふ事に就ては政治問題であつて吾輩は茲に語る事を得ないが幾多の

◇同胞の血を 流し鉅億の國帑を擲つて折角に占有した將來有望なる土地を唯だ歐洲の平和と云ふばかりの爲めに還し度く無い事は國民全體の

◇感情問題 であつて政治問題ではない殊に予一人の情としては戰後の青島は何う成る事であらうと云ふ事ば多大の興味を以て注目して居る次第である、青島居住の邦人も此問題の形が付かなければ安心して

◇投資する事 が能きないと云ふ關係から占領後まだ大きな事業は一つも起して興つて來ない、日本內地の人達の多くは青島に關する智識が殆ど零である處から單に

◇價値の無い 一海港の如うに思つて居る向きも有るが青島は決して其んな無意味な一海港ではない現在の支那の爲めにも日本が青島を持つて居ると云ふ事は其の沿海の平穩を維持すると云ふ上から見てもどれだけ

◇都合が好い かゝら分らぬ位である、況して大なる富源を有する山東に日本人が經濟的發展を爲すにはどうしても青島は大切な場所である、青島其ものとしては支那沿岸に珍らしく

◇氣候溫和にして水清く 頗る南日本の沿海岸に似た處が有り且つ其の背後の方面は鐵產林產に富み且つ將來興すべき牧畜農業は頗る有望である

■寒念佛 六日の寒の入りから節分までの一箇月間府內の各寺院では恒例の寒行が始まる、毎夜提灯影凄き巷の道を網代笠に鐵鉢を捧げた行者の姿はこれから夜の街々に度々見られるであらうもと寒行は印度にはなかつたが托鉢は釋尊の時代から行はれてそれが當今の寒行になつたのであらう、寒行の中にも府內若草町の曹洞宗別院では例年の通り同愛會の恤窮寒行を試み篤志家から喜捨せられた淨財を以て一般の貧困者に頒つことゝなつた、これは一般の行路病者などには本願寺の救濟所があれども憐むべき貧窮者の中には救濟の途なき人も尠なからずとて道同曹洞宗別院が率先して此の慈善寒行を始めたのである、豫て成績の如何によりては嚴寒中に限らず每月托鉢寒業を試むる筈

◎偽證書で訴訟

勝訴となつて露顯

京畿道抱川郡加山面甘岩里の李軸璉(三二)は大正三年舊十二月頃同里李軸班が同月二十三日附を以て軸璉宛にて金二百十四圓の債務ある如く裝ひたる借用證書を偽造し之れを楯に取りて大正四年五月二十四日辯護士金基實を訴訟代理人として李軸班に對する貸金請求の訴訟を京城地方法院に提起し同年十月二十六日勝訴となりて右の金額を領得するに至りたるも其後に至りて發覺し同人は久しく京城地方法院豫審に於て取調べの末公判に附せられ此程懲役六箇月の處分となれり

◎盛なる消火演習

永登浦の出初式

永登浦消防組出初式は六日午前八時より擧行されたり定刻に先ち警鐘を合圖に田村消防組頭以下消防組員一同は何れも規定の服裝揃ひの法被姿にて永登浦警察署構內に參集し消防係警官指揮の下に一同整列し沖本署長より一場の訓示あり其れより隊

て驛前の廣場に芝草を以て假設しある高さ約三十尺の高樓上の發火に對し水道栓を開放して消火演習をなし充分の好成績を示し鎭火を待つて組員一同は驅足にて再度警察署構內に引揚げて整列し署長の講評及び新に任命されたる消防手に對し辭令の交付式あり次いで器具の點檢を終りて一同記念の撮影をなしたり夫れより一同は京町の廣場にて水道栓に依り水力試驗をなし皮革會社其他數箇所にて梯子登りの放れ業を演じて午後五時頃目出度出初式の終了を告げ同夜新年宴會を開きたるが盛會なりき

◎四名屋根瓦の下敷となる

六日午後四時半頃京城太平町二丁目支那人パン屋趙明聲方にては俄然溫突三間の內二間分の屋根崩落し屋根瓦墜落したる爲め室內にてパンを食ひゐたる鮮人擔軍李載春外三名は其の下敷となりたる騷ぎに附近の者及び本町警察署員驅付け直ちに四名を引出したるが何れも幸に無事なりし

◎密漁船二十八艘を拿捕す

慶北東海岸に於ける不正漁業團は從來巧みに官憲の目を遁れつゝありしが今回慶北道警察部に於ては根絶の目的を以て大檢擧を行ひ管內江口港の不正漁業團を襲擊し二十八名を一齊に檢擧し爆藥專用船二十六艘同上餌網五張ダイナマイト四十五本同上投彈八個雷管四十三個導火線三把を證據品として押收したるが今[illegible]狀況を記さんに去る十月以降漁期に入りたるも虎疫流行の爲め彼等は一時不正漁業を中絶しゐたり然るに十一月以降再び漁期に入りしを以て竊かに不正漁業を開始し最近に及び不正漁業者は表面釣船に假裝し形式的の釣道具を用意し一般の乘組員四五人あるも出入港に際しては二人の外は板子下に隱れ恰も釣船の如く裝ひ官憲の目を瞞着し十二月二十四日江口港碇泊中盈德署は早くも是を看破し三隊に分れ本隊は陸上より一隊は港口より一隊は逃走路より警戒し包圍襲擊をなし引續き不正漁業者の家宅搜索に著手したり其數七戶にして內三戶より前記の證據品を發見せり今回の大檢擧は江口港に於ける不正漁業團を根絶したる次第にて將來再興の虞なきものと確信し得るものなれば正漁者は一般に喜び居れり(大邱)

◎大豺に逡はる

平北寧邊郡八院面天陽洞金理秀は舊臘十八日午前四時頃起き出で宅前に

て用便中路傍より一頭の大豺顯はれ同人を拉し去りたるが居合はせたる兒の理玄が直ちに追跡したるに理秀は兩脚、腕、頭部等を咬まれて遂に慘死し居る屍體を發見したるも豺は遂に姿を見當らざりしと

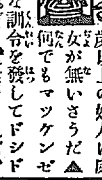
◎鮮銀總裁夫人東上 朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏夫人は令嬢三兒を伴ひ六日午後七時來釜同八時三十分出帆の連絡船さくら丸にて東上せり(釜山)

各地の出初式

■平壤 平壤常備義勇兩消防八十餘名は四日午前七時警鐘と共に大橋組頭邸前に集合八時五十分平壤警察署構內に於て齋藤署長は人員の點呼服裝器具の點檢をなし常備消防手水管車の演習ありて式を終り夫れより署前府廳道廳警務部等にて梯子乘りの妙技を演じ午前十一時市中に出で隨所に得意の演技をなし午後二時散會せり(平壤)

■忠州 四日未明警鐘を合圖に忠州消防組出初式を擧行し憲兵分隊長一場の訓示を受け盛裝せる內鮮消防夫五十名は川上憲兵伍長指揮の下に大手町に消防の實地演習を爲したるが此日零下七度の酷寒にてホースの筒口氷結したるを物ともせず朔風を衝いて日頃訓練の手並を示し午後一時終了せり(忠州)

■天安 天安消防組は四日午前九時警鐘を合圖に各消防夫は天安憲兵分隊に集合し池上憲兵分隊長は器具の點檢を行ひ消防に關する一切の訓示を爲し終りて各消防手は天安川に驅付け遠距離の水力演習水運搬等の各演習を終り後ち憲兵分隊大門の樓上に於て饗食の宴を開き午後一時散會せり當日重なる來賓は武宮天安支廳判事天安柴田郵便局長池端公立普通學校長其他官衙の書記及び地方の有志者等なりき(天安)



▲獨軍に占領されたる佛蘭西では十二歲以上の婦人に處女が無いさうだ▲何でもマッケンゼン將軍が猛烈な訓令を發してドシドシ獨逸國民の種族を蕃殖せよと奬勵するので▲母子相揃ふて獨逸兵に凌辱され懷姙してゐるのがあるとは植村總督府醫院醫官の話▲獨逸では開戰前に瑞西の中立地帶を破つて南佛蘭西を衝かうか白耳義の中立地帶を破つて北佛蘭西を衝かうかといふのが專門家の懸案であつたが遂に一二票の差で白耳義突破說が勝つて瑞西は安全であつた▲瑞西人は山獵師の子孫で小銃の名手が多くそれに天險によつてるので寧ろ破るに易いと思はれた白耳義を衝くことになつたのだそうな、これも同醫官の談

增訂再版

石山福治編纂

支那語大辭彙

―上質紙縱六寸五分橫四寸五分總紙數二千六十頁、背角革堅牢上製、箱付― 正價四圓五拾錢 送料滿鮮四拾錢

斯界唯一の大辭書

▲支那人の日常相談する言語及び時文に使用する語句參萬參千貳百五十語を最も索引に容易なるローマ字順に排列して一々其發音義意を解說し更に增補語數一千百四十五を加へたるもの卽ち本書也

▲又發音を知らざる檢索者の爲に字畫より所要の或る語句を引き出す用意として書中に使用せる漢字約五千數百を畫引順に排列して一々之に支那の現代音聲を配したれば何人にも檢索極めて自由也

▲更に本文中の或る語句にして說明の特別に詳密を要すべきもの三十九項目を選み精細なる解說を附し卷末に補遺とせり

▲最後に尙、附錄として支那五千年間に起伏變遷したる支那歷代年表を錄し、各時代の帝王年號には一々現代の發音を註し且つ西歷紀元と相對せしめ、加ふるに研究者の最も困難を訴へつゝある度量衡、地名の異稱、時日月の異稱等を詳かに解說し以て錦上幾朶の花を添へたり

發賣元 東京本郷二丁目六 振替東京二一八番 文求堂書店

賣捌 大連、旅順、鐵嶺、京城、釜山(振替大連五五) 大阪屋號

主宰 井口工學博士

帝國工業精習錄

機械科

新學期開始

規則見本無料進呈

東京市神田區松永町 帝國工業學院 電話下谷 六〇三五 五八一七 振替東京 二一二七〇

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正六年一月一日 (定價貳拾五錢 郵税二錢五厘)

主要目次

口繪 遠山の雪(三色版) 李王職牧馬事業 樂浪及高勾麗時代の古蹟

■歲首の辭 ■長谷川總督訓示 ■大正五年に於ける朝鮮

◎寺內前總督告別記念寄贈金の頒與◎各道行政區域名稱一覽表(全羅北道)◎大正六年度朝鮮總督府各特別會計豫算綱要◎十一月中朝鮮貿易◎十月中經濟概況◎大阪府朝鮮貿易◎李王職牧馬事業概要◎乾繭器の普及狀況◎アカマツ一年生苗の床替密度に就て◎大正四年保險事業成績◎十一月中の鐵道運輸◎鐵道倉庫營業開始◎朝鮮司法制度沿革◎私娼取締に就て◎戰後の獨禍

□內地學校視察報告……平壤女子高等普通學校長 渡邊春藏
□普通學校卒業生指導方法……沙里院公立普通學校長 堀捻次郎
□鬱陵島の森林植物……總督府技手 石戶谷勉
□大邱各市概略……大邱府尹 竹崎六次郎
□忠淸南道蠶業十年計畫……忠淸南道報告
■樂浪時代の遺蹟……工學博士 關野貞

▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日

▲販賣店 京城大阪屋號書店・凝松堂京城店 其の他朝鮮各地の書店に販賣す

▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

怒濤の月

四十二 小林蹴月作 武内桂舟畫

密謀 『八』の三

大體に於て、主從の評議は、一決した樣なもの、之が實行の手段方法に就いては、又更に[illegible]心を要するものがあつた。

『ねえ、旦那、盗み出すと云つても、豊夫貴方の被仰るやうに、芝居の黒頭巾と云ふ譯にも行きますまいが、什うでせう？彼の娘が果して、それ程までに許婚の男に義理を立つて居るものなら、その男を旨く此方へ抱き込んで利用すると爲たらば。』

『松崎、お前は流石だ。そして、その男の身元や住所は、お前知つて居るのか。』

『餘り詳しい事は存じませんけれども、何でも牛込の矢來邊に住んで居る青年畫家で、倉橋耐雪とか云ふ男ださうです。』

『なに、青年畫家で、倉…橋…耐…雪…？待ちなさい松崎、倉橋耐雪と云ふ畫家なら、俺も少しく心當りがあるんだ。』

椎一郎は、斯う言つて、頻りとおぼろげなる過去の記憶を呼び起すべく考へ始めた。

『はてね、貴方に畫家の知己がお有りになると云ふのも、第一不思議の滑頭ですが、殊にその耐雪なぞと云ふのは、頓とまだ社會に頭の先さへも出しかけて居ねえ位の三文畫師なんで御座いますからね。』

『そりや、然うかも知れないがね、松崎、漸く今考へ付いた事があるよ。たしか彼れは、昨年の夏の末だつたね、お袖を連れて、日光見物に行つた事があるだらう。彼の時、例の有名な華嚴の瀑布の所で、偶然妙な奴に出會したのさ。みそぼらしいネルの單衣を一枚著て、鳥打帽の色の褪めたのを鳥渡被つて、一生懸命豁豁と落ち來る瀑布の飛沫を身に浴びながら、四邊の景色を寫生して居るんだ。俺は、元來畫なんてものは大嫌ひだし、畫を床の間へ掲げて置く位なら、百圓紙幣の十枚も額に裝つて眺めて居る方の主義だから、別にその男の方なんかは、氣にも留めずにさつさと坂を登つて行かうとすると、[illegible]の奴めは、俺と反對にひどく感心して了ひをつて、到頭その畫家の側へ立ち寄つて、一時間餘りも見て居ると云ふ始末さ。乃で、自然と語を交すやうにもなつたが、その時、男の言ふにはね『唯瀑布の外面の大きな物凄い景色を寫した丈では、眞の畫ではない。此の無窮の音響と瀧壺の底に宿つて居る神秘の姿が、畫の内面に彷彿と爲なければ、不可ない』つて。俺などが聞いても無論馬の耳に念佛で、少しも譯は判りや爲ないんだが、つい心安くなつた次手に、その晩日光ホテルへ呼び寄せて、一杯御馳走を爲ながら、段々身の上話などを聞いて見ると、なか／＼什うして、勉強の方にかけては熱心極まつたものさ。で、此の華嚴の瀑布の畫は、來年の文展へ出す仕度に寫して居るんだが、萬一落選するやうな事があれば、自分はその出來上つた畫を抱いて、此の瀑布へ飛び込む覺悟ですと言つて、後は大笑ひに笑つて別れた事があるが、その折、俺に呉れた名刺には、確かに、倉橋耐雪と爲てあつたやうに覺ねて居るんだ。』

『いや、それならば正しく、その男に違ひありません。何でも、彼の白富の婆さんの口吻に依つて見ますと（ボ）畫家の癖に、口では天地を一呑に爲るやうな事を言ふかと思ふと、時には又、女よりも氣の小さい神經過敏な性質を備へて居る、至つて譯の分らない人物の所へもつて來て、折角大苦心を爲た華嚴の瀑布が落選したので、此の節では何でも氣が變になつて居るらしいとのことですが、物は當つて碎けろです、少し氣が變になつて居るなどは、反つて實行の上に好都合かも知れませんから、私が一つ瀬踏に出掛けて見ませう。』

『場合に依つたら、去年日光で出會つたのを緣故に、その落選の畫と云ふのを、俺の名儀で、うむと高く買つて遣つといて、それから徐ろに紹代連れ出しの策を吹つ込んで遣るべしだね。』

『委細承知しました。善は急げですから、是から直に行つて見ませう。』

氣早の松崎は、大急ぎに給仕を呼んで、牛込までの俥を一挺命じさしたのである。

勅題恭詠

久保田良行

大君の積るめぐみを遠山のみねの深雪に仰ぐ初春

遠山の盛んの雪をところ／＼若芽さしつゝ朝日さしつゝ

豊かなる年のしるしを遠山にかゝる雪にも知られけるかな

いさ童うまに鞭をけ梅見せむ遠山白く雪消ねぬまに

本町一丁目三越向 電話一〇四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田應治

●戰後貿易樂觀

米國の對戰後[illegible]
[illegible]國に於ても歐洲戰後の經濟戰に對する準備として種々の調査を行ひ殊に[illegible]數の專門家を派して調査に餘念なし[illegible]意を怠らざるもの、如く朝野共に多[illegible]は再び對米投資政策に出づるならんと恐怖せるが如しと雖も獨逸に於けるの年月を要するものあるが如し而し[illegible]行家並びに商人の說によれば戰後に[illegible]獨逸は勞働者の大拂底に遭遇す[illegible]チランド號を米國に差向たるアルフレッドローマーンの意見を引用せ[illegible]戰後對外輸出をなさん[illegible]より原料[illegible]め得るや斯の如きは[illegible]に不可能の事なり戰後の獨逸は[illegible]經濟的創痍を癒するに多忙なる長年月を要す可し」と更に此談話に就て[illegible]び米國政府の財[illegible]調查官の[illegible]

新刊紹介

▲鮮滿の工業（新年號） 時代の趨勢と將負業者の道念 坪川寅次郎『電氣工業と經濟思想』『青柳榮司』朝鮮人職工に就て『横井實郎』朝鮮民産業に就て吾人は何を學ぶべきか『中村彌志平』藤氏と鎭山『前田榮雨』鑛土から金剛石『兎耳生』等の外鑛業界土木界等如例鮮やかなり（二十二錢 京城長谷川町八四共社）

▲朝鮮及滿洲（新年號） 釋尾旭邦の朝鮮の現狀を語りて長谷川新總督に問ふ、長谷川新總督と語る幣原博士の武の國文の國體川博士の日本式植民地の理想等を初め新總督長谷川觀『前田將士』地と人より觀たる滿洲朝鮮日本『木戸忠太郎』大小人物總まくり『ヒマラヤ山人』等の外官民數十名の蹟を集めて長谷川新總督の參考に供す及び朝鮮化論及び鐵山ブローカーの内幕、大正五年の京城柳花明綠安珍沿姫傳說等百花爛漫の觀あり（二十五錢 京城旭町一朝鮮雜誌社）

▲勞働及び産業（新年號） 新州勞働大會出席の記『鈴木文治』勞働項目『油谷治郎七』勞働爭議論、內外勞働界の[illegible]等の各種あり（十五錢 東京市芝區三田四國町二友愛會本部）

▲ゼ、イングリッシタイムス（新年號） 時事に關する興味ある題目を平易なる英文にて記し叮嚀に解釋を附したり陸新年附錄あり（特價十五錢 東京市芝區南佐久間町一の一英語研究社）

▲ゼ、ユース（新年號） 最も巧なる翻譯振りを見せたり依例興味ある幾多の短文を滿載し猶大塚兎龜生の北米よりを附錄す（十二錢 東京市麹町區内幸町ジャパン、タイムス學生號社）

▲國民飛行（新年號） 大正五年度に於ける飛行家『長岡外史』陣中日記から『滋野男』及び大正五年の陸海軍航空界其他飛行機飛行界に關する有益にして興味ある記事を滿載す（十八錢 東京市[illegible]）

▲現代の圖案工藝（新年號） 各種圖案意匠の圖案及び其の應用說明、圖案工藝に關する論說學理談叢等を通俗時報圖案工藝に關する系統的講義等其の內容なかし學理に泥まず趣味に偏せず通俗簡明を主としたれば圖案家、工業家其他圖案意匠に趣味ある人の好伴侶たるべし（二十五錢 東京市赤坂區青山南町二の四〇共社）

▲東方時論（新年號） 日英の經濟關係『瀬戸博士』支那文明と政黨政治『忠英東畿』大隈經營者としての日本『政尾博士』時國主義と政黨聯合どを論ず『田川大吉郎』政治の腐敗と國民生活『江原素六』日本人と南洋『新村博士』余欝論『寺田博士』支那革命史論『吉野博士』等政治經濟に關する名士の論多し（三十錢 東京市牛込區加賀町二の五共社）

▲フースヒー（二九） 五錢 東京府下澁谷町下澁谷一二二共社

▲東京府立第二高等女學校同窓會々報（一三） 非賣品同校

▲飛行幼年（新年號） 何處迄も旗國主義を主張せる同誌は勇ましくもきびしたる幼年雜誌にして附錄飛行双六も上出來なり（十二錢 東京市京橋區本八丁堀日本飛行研究會）

▲文章倶樂部（新年文壇一百人號） 或時の印象なる題下に文士の見た文士十數名及び小說には錦送の河霧俊子の蹈の夜附錄文壇一百人物帖（十錢 東京市牛込區矢來町中の丸新潮社）

▲婦人之友（新年希望號） 現代六十六名家の私の希望をはじめ三宅博士羽仁主筆の論文等讀へきもの多く實際的記事には津田夫人の家事のとり方奥村氏の家庭絞り染法あり小說は佐藤紅緑、中里介山、松本雲舟三氏の新作長編を連載しはじめ附錄には裁縫節用歌かるたを添へたり（東京府雜司谷上り屋敷共社）

▲博文館の幼少年雜誌（新年號） お馴染の巖谷小波先生が監修で幼少年雜誌第一番人氣があり評判の高い幼年畫報十二錢幼年世界十二錢少女世界十六錢少年世界十六錢は相次いで盛裝した新年號を出したどれにも目を吃るばかり見事な双六の附錄がついて居て口繪も讀物も選り拔きの美しい面白いものばかり飛ぶやうな賣行だと云ふ（東京市日本橋區本石町博文館）

▲家庭（新年婦人社交號） 華やかに社交へと『阿部磯雄』貴婦人としての社交的要件『山脇房子』社交と趣味のいろ／＼『巖谷小波』社交と演藝『岸邊福雄』等の婦人社交に關するものの外家庭に及ぼす御作家たらんとする新しい女へ『實物の仕方』新年服飾品及び小說ちされ雲『長谷川時雨』冬『久保田萬太郎』（峰三十錢 東京市外巣鴨宮下七六三共社）

▲西洋畫報（新年舞踏號） 欧米各國に於ける舞踏界の花形者の各種の舞踏寫眞約二十を卷頭に配し舞踏の由來、藝術の舞踏、近世の舞踏と其名手、舞踏の社交界關係及び小說にはトーマス、エッチ、ウヘルの獨探アーサー、ツシマーロチッエの自畫像あり依例紳西洋趣味の畫報（二十八錢 東京市麹町區富士見町四の一一井社）

▲一大帝國（新年青年黨活躍號） 立憲青年黨の主張を明かにし廣く滿天下の同志を求むる[illegible]の旗幟を明かにし且つ[illegible]新公に呈する書『下岡忠治』等を初めとし永井柳太郎、[illegible]、町田辰治等の政論及び進步的な[illegible]依つて見らる現代名士、情史に現はれた新しい女、女其他の趣味豐富なり（十六錢 東京市芝區琴平町一共社）

▲對支解決見（一大帝國臨時增刊） 五百余名の有識者より[illegible]對支外交の根本的精神に就て[illegible]日支兩國の關係より其の禍根を指摘し[illegible]國民の覺醒を促さんとする所あり[illegible]（價十錢 東京市芝區琴平町二一共社）

▲忠道研究（新年號） 小野鐵堂主幹にして[illegible]（二十五錢 東京市神田區錦町三の一七斯道會）

▲婦人世界（新年號） 嘗て噂ありし如く村井弦齋氏は本號より長篇家庭小說『小松島』を起稿せり美しき若き姉妹とその女兒の運命を描ける悲劇の第一幕は人をして紅涙に咽ばしむ乃木大將の嫡孫小笠原刀自長谷川刀自の兄大將と共に父母より受けたる教訓は珍らしくて有益大將の父君希典君の寫眞も珍品也下田歌子女史の西洋小說『浜迎と情』は例の優麗典雅の名文味はふべく新渡戶博士林伯爵遠藤博士遠山博士の談話は有益名流婦人の嗜著と不斷著名家子女ゝ名の由來乘の讀物として面白し新年大附錄世界婦人年鑑『双六は本誌獨特の美麗なるものなり』（十七錢 東京市京橋區實業之日本社）

◎『大日本國語辭典』購入の機 東京富山房發行の『大日本國語辭典』が上田博士松井教授兩氏二十餘年苦心の餘に成り、昨年十月第一卷を發行するや國語界空前の大著述として標準的國語大辭典として、あらゆる最高級の讃辭を博し、本年十月第二卷の發行と共に信用益々確立して第一卷に勝る盛況の下に去る卅日を以て特價を撤回したるは世の知る所なり。然るに其後も各方面より注文續々蝟集するを以て、出版者は同業者に對し特に便宜上明年一月卅一日迄特價の注文に應ずる事となせりといふ。希望者は此の機を逸せず最寄の店に就き購入せらるべし

名義書換停止公告
當行定款第貳拾四條ニ依リ來ル一月二十二日ヨリ二月二十日迄通常株主總會終了迄株式ノ名義書換ヲ停止候也
大正六年一月八日 朝鮮銀行

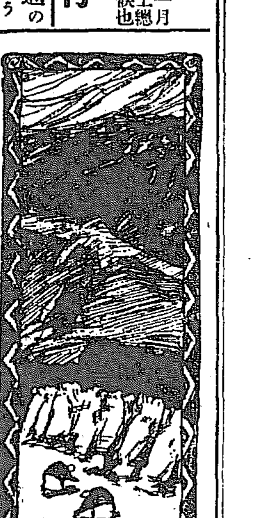
新春のお寫眞は南大門通の京城寫眞舘にてお寫しあれ
技術優秀・價格低廉・室內如春

社告
京日案內廣告料金左之通り改正し大正六年一月一日より實行仕候
番外 五行一回 金壹圓
普通 三行一回 金五拾錢
匿名一回毎に拾錢増し無割引

京日案內
普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一圓 一回增毎に[illegible] 中止の節は料金返戻せず

普通
◎店員入用 年齢廿歳以下商業學校出身希望の方は直接來談あれ但確實なる要保證人二名 仁川 島居商行 5
▲女書生入用 但十七歳より廿五歳迄希望の方は履歷書送附あれ 京城本町三の九 中村齒科醫院 14
◎融通 月收の御方へ極秘信用便宜立替 御報伺又は御來談 京城 大和町三の三二（柄澤前）起木屋 5
◎寫眞技師助手 至急入用 龍山驛前獨立軒 樋口寫眞館 8

番外
◎被雇度 醫學生多年經驗あり市內地方不問病院醫院へ 給不望（姓名在社） 10
◎はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 1
○朝鮮語科 英語科 新學期 三ヶ月修業 各級補缺 募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會 12
◎生田流 琴曲教授◎ 京城本町二丁目四五天理教會前 少年音曲家 宮富輌介 17
事務員 至急採用 自筆履歷書携帶本人來談あれ 朝鮮公論社 11
◎質◎ 秘密 親切 勉強 若草町四十番地 荒井牧場向横小路 ㊂質店 12
富山縣人士に告ぐ 在鮮富山縣同鄉倶樂部芳名簿作製す至急入會を乞ふ締切は本月十五日普通入會金共金四十錢也 申込所 旭町 淺野樂天堂 電話十四百番 15
京城 春川 間乘合自働車 賃金片道四圓 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り ◎京城自働車商會 電話武壹參八番 支配人 松田壽男 2
◎京城春川間毎日午前八時卅分出發 旅行自動車貸金片道四圓 京城南大門通一丁目 廣橋自働車組 電話二一九番 主務 金正淵 4
恩給年金 立替 利子年一割 即時取引 退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正館向）元祖 博多屋本店 7
再診療開始 患者各位の希望に依り六日より一ヶ月間再診療開始す 京城長谷川町安東病院内 肛門病注射專門醫院 9

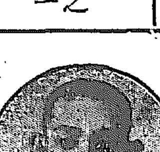


(ミツワ文庫六〇一)

羽子板の話

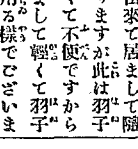
羽子つくは惡蟲除けのまぢなひ 昔の羽子板は公卿の笏に似たり

市村羽左衛門談



年が改まりましても羽子を突く音が長閑に聞かれませんとお正月らしい心持がしないとまで云はれて東京市中何處へ參りましても羽子突く音は聞かれ歳末の年の市十軒店三越白木屋などで羽子板の賣行ます額は大したものださうでございます。只今の私共俳優の似顔を押繪にし衣裳の模樣なども隨分立派に出來て居まして隨分大形のものがありますが此は羽子をつきますには重くて不便ですから大概室内に飾られまして輕くて羽子のはずみますのを用ゐる樣でございます。此羽子板は餘程昔からありましたものと見えまして今から五百六十二年ほど前の文安元年に出ました『下學集』と云ひます書物の中に羽子板、正月之を用ふとありますさうでございます。それ以前からあつたものでございませうから餘程以前からありましたものでございませう。ずつと以前のものは今の樣な形ではなくて御公卿樣の持て居ます笏の樣なものだつたと見えまして田舍の人が笏へ上つてお公卿樣が笏を持つて居るのを見まして羽子板であらうかとみたと云ふ笑話がございます。此羽子を突ますのは幼い者が蚊に食はれない呪だとも申します。それは蜻蛉が蚊を取つて食ひますので羽子は此羽子が空中で蜻蛉がへりをしますので蚊を脅かすのだと、さる本に書いてありますさうですが此は餘り作り事の樣にも思はれます。德川時代には吉例にお用ゐになりました羽子板は表を緞様か蒔樣にし裏に左義長を書き表の上に葵の御紋を三つ附け總體を金箔で押したものださうでございます。一般の民家では寛政文化の頃から押繪の羽子板を用まして七福神とか三番叟、寶船、美人畫の浮世畫をきつて貼つけたものださうでございます。之が四五十年前から錦繪を貼つける樣になりましたのださうですが矢張普通に之を押繪と云て居ります。

るのでございます。羽子板を用ゐるお正月のお化粧はお召物も贅澤ですから自然濃化粧でございますが此の濃化粧は化粧の土臺になります地肌を整へられて居りませんと斑點が出來ましたり、白粉がよつたりして美しい化粧振に出來上らないものでございます地肌を整へますには皮膚の營養を助けますミツワ石鹸を用つて入浴をしますに越したことはございません。浴槽で温まつて胖かになりました皮膚へ此ミツワ石鹸を塗で浴きました雪の樣に白い泡沫を塗りまして靜かに撫ますと石鹸の作用で汚垢は此泡沫に吸はれる樣になつて泥りますから此をお湯で流しますと汚垢はするりと氣持よく落ちて皮膚は清潔になり機能は健やかになりまして、いゝ色澤になり白粉ののびも宜しくなりますから美しい化粧振に出來上ります。此入浴の際に浴槽の中へミツワ花の雫（オードフラール）を滴らして用ますとミツワ石鹸を助けて一層よく皮膚を整へます。



▲市村羽左衛門曰く 初春のお髪の美しく出來る樣にお望みになります方には是非ミツワ椿油をお用ゐになる樣におすゝめいたします。ミツワ椿油は普通の椿油とは違ひまして、嚮めて見ましても香味はなく色に赤味がなく厭な臭はせず、不乾性、滲透性も理想的ですから髪油としては申分なく、切毛裂毛はなくなり、よつて發育がよくなり、髪は之に因つて黒に艶が出て初春に適はしいお髪が出來上ります。

最新刊
書名 著者 定價
株式會社法論 片山義勝 四、〇〇
支那時文講義全集 山田勝治選 三、〇〇
日獨握手論 樋口麗陽 一、〇〇
現代名家圖案集 石井柏亭 二、〇〇
繪本更科草紙 [illegible] 一、二〇
必携史上發句集 大日本俳諧會編 八〇
日本國民傳說 高木敏雄 八〇
乃木將軍詩集詳解 山田竹三郎 五五
當世百道樂 堀内新泉 一、二〇
河竹默阿彌 河竹繁俊 一、六〇
渡り鳥日記 松本赤太郎 二、三〇
一兵卒の銃殺 田山花袋 一、三〇
道草 夏目漱石 一、五〇
白絃集 長田幹彦 九五
幻の繪馬 泉鏡花 四〇
その妹 武者小路實篤 三五
小萬 長田幹彦 四〇
死者生者 正宗白鳥 九五
親鸞聖人 [illegible] 一、三〇
たのもしき少女 沼田笠峰 五五
圖案[illegible]戰法 [illegible] 六〇
京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版・亜鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可成親切を旨とし御需に可應候
京城日報社 寫眞製版部

市内南大門通八達の場所にして庭園廣く眺望絶佳至つて閑靜の地なり
佛蘭西料理調進
客室 食堂 完備
宴會は特に御便利に取計可申候
ファミリーホテル 京城南大門通三丁目 電話一二八番

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行
營口丸 一月十四日正午出帆
淡路丸 一月廿一日正午出帆
[illegible]丸 一月三十一日正午出帆
仁川港町一丁目 堀 回漕店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
○立神丸 月 日後五時出帆
○小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 月 日後十時出帆
○小倉丸、西湖、新浦、城津、清津行 月 日後四時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 月 日後六時出帆
○第三琴平丸 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日、十四日午後十時出帆
○天眞丸 日廿一日廿六日
釜山港埋立新町 大池回漕部

三女マツ子儀豫て病氣療養中の處藥石効なく昨七日午後三時死去仕候間此段生前知己に謹告仕候也
追而葬儀は本日午後三時本町三丁目自宅出棺途中行列廢止（放島遊花郭連）來る九日[illegible]院に於て執行仕候
父 大藪博治
大藪マサ
親戚總代 村上幸次郎

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 ○京畿丸 ○咸鏡丸 ○成[illegible]丸 一月十五日、十日 [illegible] 釜山發
○昌平丸 ○咸鏡丸 ○[illegible]城丸 一月八日 元山發
○昌平丸 一月 日 元山發
○會寧丸 一月 日 釜山發
○江陵丸 ○[illegible]丸 毎日 釜山發、浦項發
○三浦丸 一月 日 釜山發
○[illegible]丸、○慶寶丸 毎日 釜山發
○順[illegible]丸 [illegible] 木浦發
○慶[illegible]丸 一月 日 木浦發
○公州丸 一月 日 仁川發
○錦江丸 一月 日 仁川發
○江原丸 一月八日 仁川發
○麗水丸、晉州丸 一月十一日、八日 仁川發
○全南丸 毎日午前 仁川發
本社 京城 電話[illegible] 京城 松原運送店（電話長一七〇番）

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 共同丸 一月十日入港 一月十二日正午出帆
仁川代理店 野口商會 本町四丁目（電話一七三番）
元山代理店 田口回漕部 春日町（電話二四四七番）
京城取次店 河村運送店 南大門 電話二六八・二〇七

大阪商船仁川出帆
○秀吉丸 ○大[illegible]丸 ○若[illegible]丸 ○神代丸 一月 日後四時出帆
○[illegible]丸 一月十六日後五時出帆
○安東丸 ○山陽丸 一月十二日後五時出帆 一月十七日
○木浦、釜山、[illegible] 信濃川丸 一月十七日正午出帆 二月三日後二時出帆
○群山、釜山、木浦行 福州丸 一月十四日 一月二十四日後二時出帆
○大連行 信濃川丸 一月三十日正午出帆 一月十三日後二時出帆
○潮州丸 一月十日正午出帆 一月二十日
○木浦、神戸、大阪行 安東丸 一月 日正午出帆
○清津、西湖津、城津二寄港 一月十四日後二時出帆 一月二十日後十二時出帆
○大連行 一月 日午後二時出帆
○上海、芝罘、打狗行 北隆丸、基隆丸 一月十一日前六時出帆 一月二十六日後四時出帆
大阪商船會社仁川支店 内國通運會社支店

京城日報